

# 江戸版長唄正本における株板化の動き

——中村座を事例として——

漆崎まり

はじめに

江戸歌舞伎においては、舞踊の場面に多彩な音曲が展開した。河東節・長唄・常磐津節・富本節・清元節など、それぞれに趣の異なる音曲は名題役者が演じる所作に色を添え、華やかな見せ場となつて観客を魅了してきたのである。

舞踊の演目に新作が出ると、役者・作者・演奏者などの上演情報とともにその音曲の詞章は三丁程度の半紙版の小冊子に載せられ、上演時に芝居茶屋や絵草紙屋から頒布された。

筆者は、右の音曲のうちの特に長唄について、伝本の調査を広く行ってきている。そして、その版行上の特徴を江戸の三座別に東海大学の紀要にまとめてきた。<sup>1)</sup> その結果、江戸版の長唄本は三座とも

に、版式や版行形態の上で概ね足並みを揃えたかたちで版行されていることがわかってきたのである。伝本は、享保十六年（一七三二）中村座の上演作品を上限として、明治期にわたりほぼ継続して残っている。

この長唄本の初版が、長唄を用いた所作場の元のかたちを知る上での基本資料になることは言うまでもないであろう。けれども、本稿では少し視点を変えて、長唄本を江戸の草紙（地本）の一品目と捉える立場で考察を進めたい。

長唄本の特徴の一つは、異版が多いことである。この異版の存在によって当時の偽版の実態や版権の確立する過程を知ることができ、全体として地本における版権のあり方を具体的に捉えうる好資料群となっているのである。特に中村座の伝本には刊年と「蔵板」「再板」「改板」などの記載が備わっており、その動向を他の二座より

も顕著に捉えることができる。したがって、本稿では中村座を取り上げて、その版行形態の変化から読み取れる著作権のあり様を検討していく。

なお、長唄本には様々な版元による異版が伝存しており、本稿では、上演時に座と専属関係にある版元から版行されたものを「長唄正本」と呼ぶことにしている。

## 一 地本としての長唄正本

近世における著作権を表す言葉に「板株（株板）」がある。この「板株（株板）」とは、版木（自前で作った場合、譲り受けた場合、摩滅・消失などによって現存しない場合がある）に付随する、その板木を用いて独占的に出版・販売を行う権利と捉えてよいであろう。そして板株の独占的権利を保証するには、仲間の結成とその公認が必要であったと考える。

物の本（書物）<sup>3</sup>の場合、江戸では板株の権利は、書物問屋仲間行事の吟味を経た上で、奉行所から改板許可が下付され、「株帳」に登録されて初めて発生する。<sup>4</sup>

一方、地本<sup>5</sup>の場合は、板株の吟味は寛政二年十月に地本問屋仲間行事による新本改めの制度が導入されてからとなるよう、物の本に比べて簡便な措置がとられていたらしい。長唄正本に対する扱い

については『義太夫本公訴一件』の「あつまのふみや」（江戸地本問屋〔抜本版行者〕側の記録）に断片的に触れた箇所がある。以下は西宮新六が、三河屋喜兵衛方の抜本の元株主であったことから、奉行所より江戸における義太夫本の始末について問われ、天保三年十一月十九日付けでこれに返答した書面の一部分である。西宮新六は江戸では古参の義太夫本版元で、伝本は少ないが長唄本をも版行している。

尤義太夫本ニ不限、長唄本其外常盤津・富本・清元・新内節等  
ニ至るまで仲間行事之改は仕来り不申候。此義は芝居ニ而狂言  
ニ興行致し、且は太夫共門弟其外江稽古本ニ相用ひ候事故、前  
とより新規ニ出来之分ニ而も其時と改は無之候。尤何節ニ不寄  
稽古本杯は文章左而已正敷品ニ而も無之事故、少と宛は尾籠之  
文句杯も有之趣ニ而、改之義は前とより地本問屋行事ニ而も致  
不申候而取扱来候。此義は、地本問屋行事被 召出御尋被遊候  
得は、相訳申候。

これによると、江戸では寛政二年（一七九〇）十月に地本問屋仲間行事改めが導入されてからも、長唄や豊後系浄瑠璃の音曲本は新本改めの対象にはなっていなかったことが窺える。その理由として、芝居に使われた音曲は上演に際し検閲を経て公開されたものであり、

その詞章を載せた本は用途や使う人も限られ、内容も芝居唄の文句であることが挙げられている。さらにその先を読み進めると、以下の通りである。

近來追と被 仰渡有之、両仲間取締宜敷成行、譬仲間之者二而も猥二板行彫刻は不為致候。前とは同渡世も少く猥二板行致來、譬は百人一首・実語教・庭訓往來之類杯、三ヶ津は不及申、其外二而も多分類板有之、且江戸表は書物・地本両仲間之内二も沢山二類板持來、夫と摺立渡世致來候。尤只今は仲間内二而も年代記・塵劫記之類二而も原板所持無之者、猥二彫立候義は不為致候得共（以下略）<sup>7)</sup>

すなわち、以前は類版をたやすく版行できたが、次第に書物間屋仲間・地本間屋仲間の取り締まりが厳しくなり、長年版を重ね普及度の高い実用書なども近來は原板を所持していないとみだりに版行できなくなっていることが記されている。

長唄正本も地本に入る以上、改めは行われなくともこうした動向を受け、原板を所有して重版・類版を排除する意識は高まっていたと考えられよう。

歌舞伎の音曲正本・せりふ正本は同じ体裁をとり、共表紙（本文と同じ料紙からなる表紙）と三〜五丁程度の本文からなり、「薄物

（うすもの）」とも呼ばれていた。これらは、案内として芝居茶屋から配られ、また、観劇用パンフレットとして芝居町を中心に絵草紙屋からも販売されていた。三升屋・三三治の『作者年中行事』（嘉永元年成立）の三の巻、豊後節の薄物に関する部分では、次のような記述も見られる。

一、薄もの板行して楽やへ配りて後、家元よりけいこに出る。此本出来ざる内は、けいこに出し事なし。（以下略）  
一、流儀くゝに寄るとはいへど、作法は旧家ゆへ、ひもの町を元とする。<sup>8)</sup>

このように、正本を芝居内部での稽古に用いていたことが窺われる。豊後節とは宮古路豊後から分流した常磐津節・富本節・清元節浄瑠璃であり、檜物町とは代々常磐津節の家元文字太夫の住居があったことから文字太夫を指す言葉である。歌舞伎の音曲正本には稽古本としての機能が備わっていたのであるから、外部者の稽古本へと展開していったと考えられる。

## 二 正本と偽版

ここでは、初版本の選定根拠を示し、初版と多数伝存する異版の

関係を、本論の最後に添えた表と、59〜61頁に掲げる「相生獅子の図版」によって説明していく。表は伝存本を上演順に並べていったものである。表の横軸は、一列目が上演年（表紙の大名題による）、二列目が外題（長唄曲名）、三列目以後は版元別に伝本を整理したものである。表はひと続きのものであるが、版行形態によって表1から表4に分け、表5は都座へ、表6は中村座へ興行権が移動したので分けている。なお、本論で取り上げている版については、その部分を太枠で囲み見分けやすいようにした。また、各版の所在については、最後の「所蔵一覧」に所蔵先と架蔵番号を載せてある。

それではまず、「相生獅子の図版」に掲げた正本と異版を見ていただきたい。図版の右側が表紙、左側は本文の最初の半丁である。

「相生獅子」は明和六年（一七六九）二月に中村座で「曾我模<sup>もよう</sup>襖<sup>ぼた</sup>愛護若松」の第二番目に上演された長唄曲である。すべての版種を載せることは紙幅の都合上できなかつたが、流行曲であったため異版が非常に多く出ている。表紙の左側上に外題すなわち曲名が「相生獅子」とあり、右上の演奏者連名の横に大名題が「曾我襖愛護若松」と各版に共通して記入されているのだが、絵や文字の書体には時代様式の違いが感じられる。刊年の記載がなく、したがって、これが初版なのか、ということがまず問題となろう。

そこで、演劇書から長唄正本の版元に関する記述をひろってみると、『新成明和伎鑑』（明和六年（一七六九）十月刊）に、

### 三芝居番付板元

|          |   |                    |
|----------|---|--------------------|
| 中村勘三郎芝居  | <small>一役者附番付やくら下<br/>上るり長寄せりふ等</small> | 高砂町横通り             |
| 市村羽左衛門芝居 | <small>一役者附番付</small>                   | さかい町               |
| 同        | <small>やくら下上る<br/>り長寄せりふ</small>        | たちはな町              |
| 森田勘弥芝居   | <small>一役者附番付やくら下<br/>上るり長寄せりふ等</small> | 木挽町五丁目             |
|          |   | 金井半兵衛 <sup>①</sup> |

とあり、興行時に出る出版物について座と版元の間で専属関係があったことが示されている。番付類やせりふ正本・音曲正本といった劇場出版物は、座側から上演ごとに継続して情報の提供を受ける必要がある、座と版元との間に本来専属的關係が形成されやすいといえる。中村座の顔見世番付、辻番付、浄瑠璃正本、長唄正本、せりふ正本といった劇場出版物は、村山源兵衛が版元であると記されている。そこで、各所蔵機関に伝存する膨大な長唄本のなかから村山版を集め、大名題によって上演順に整理し、『長唄原本集成<sup>⑩</sup>』の成果をも取り込み、上演時の正本と判断されるものを表1の三列目に表した。

中村座の長唄正本は享保十六年（一七三二）から伝本があり、江戸の地本問屋大手の鱗形屋、番付版元中嶋屋、そして江戸浄瑠璃正本や役者絵細版を手がける伊賀屋が初期の版元であったようだ。表1で版元1・版元2の欄を設けてあるのは、上演時のものと見られる版が二種存在する場合があるからである。座に出入りする版元は



[相生獅子の図版]

㊦

村山源兵衛版 上田図書館花月文庫 335



㊧

無刊記版 松浦史料博物館



㊨

富士屋小十郎版 国立音楽大学附属図書館竹内文庫 07-0005



①

田仙居段三 梓屋六三段 西修吉五段 三及町  
 傲出市十段 梓屋五段 古川清彦 村屋利彦  
 里田福卷 梓屋佐吉 太田宗助 元北が巳

曾我權家譜表  
 大いり  
 相生獅子 中村屋

相生獅子

相生獅子

① 沢村屋利兵衛版 国立音楽大学  
 附属図書館竹内文庫 07-0018

②

故田仙居段三 梓屋六三段 西修吉五段 梓田  
 傲出市十段 梓屋五段 古川清彦 森田屋金藏  
 里田福卷 梓屋佐吉 太田宗助 年永町

曾我權家譜表  
 大いり  
 相生獅子 中村屋

相生獅子

相生獅子

竹内文庫

② 森田屋金藏版 国立音楽大学附  
 属図書館竹内文庫 07-0015

③

故田仙居段三 梓屋六三段 西修吉五段 板神田鍋町  
 傲出市十段 梓屋五段 古川清彦 伊賀屋勘右  
 里田福卷 梓屋佐吉 太田宗助 元北が巳

曾我權家譜表  
 大いり  
 相生獅子 中村屋

相生獅子

相生獅子

③ 伊賀屋勘右衛門版 国立音楽大  
 学附属図書館竹内文庫 07-0011



⑥

濱松屋幸助版 国立音楽大学附属図書館竹内文庫 07-0014



⑦

髙屋重三郎版 国立音楽大学附属図書館竹内文庫 07-0013



限定されていたが複数あった模様である。宝暦八年（一七五八）と十一年（一七六一）には市村座の専属版元泉屋権四郎の名も見えるが、宝暦十二年（一七六二）には村山源兵衛が「中村座はんもと」と奥書に記し始め、中村座と独占的な関係を築くことが見てとれる。さらに、明和八年（一七七二）頃から村山源兵衛版の奥書には「中村座板元」「正銘板元」の表記が多く見られ、村山が正本版元として定着していることが確認できる。「相生獅子の図版」では⑦が村山源兵衛版で、上演時に出された正本となる。長唄正本は、新作の長唄曲が芝居で上演されるときに出されたものであるから、表紙に大名題（狂言名題）があれば刊年は必要なかったと見られる。ちなみに、次頁の図版⑧は享保十九年（一七三四）三月上演の市村座の長唄正本である。奥書に「市村座新きやうげんはんもと」とあり、市村座では中村座より三十年近く前に座の専属版元が形成されていたことがわかる。

㊦

泉屋権四郎版 早稲田大学演劇  
博物館特ト 13-417-1  
(表紙と終丁裏)



㊧-a

村山源兵衛版 早稲田大学演劇  
博物館安田文庫特イ11-1212-  
11J



㊧-b

本屋儀兵衛版 早稲田大学演劇  
博物館安田文庫特イ11-1212-  
93E





再び「相生獅子の図版」に戻ると、村山版⑦と非常によく似た版面が、下の④にある。これは無刊記版である。版元名を記さないことと自体が、享保七年（一七二二）の出版条令に照らして疑わしい存在と見なされよう。<sup>12)</sup>この無刊記版は、文字の入り方や跳ね方などの細部に違いが見つかり、彫りも全体的に堅い印象であることから、村山版を版下に用いて被せ彫りしたものと推測される。村山版の表紙の版元名部分を削除して、「中むら」と入れ、「座」の文字は除かれていることに特徴がある。絵の部分については頭部の扇や牡丹の葉に手を加え、着物の柄は省略されている。本文については、変体仮名を数箇所変えてあり、意図的に版下に手を加えていることが窺える。

「相生獅子」には本屋儀兵衛版が伝わっていないが、本屋儀兵衛版にも村山版を版下に用いて被せ彫りしたと見られる版が多く見つかる。そこで、正本とその異版について版面の比較を詳細に行ってみたところ、伊賀屋版や村山版を版下に流用しているのは本屋儀兵衛版と無刊記版に限られることが明らかとなった。しかも、本屋儀兵衛版や無刊記版は市村座や森田座の正本に対しても、同じ手法をとっているのである。

よって、表1の正本の欄（すなわち版元1と2）の右側に、本屋儀兵衛版・無刊記版の欄を設け、正本に対する本文の流用関係を表してみた。表では、伊賀屋版村山版を元版にして、版元名以外をそ

のまま版下に用いているものはA1、村山版を版下としながら部分的に手を加えているものはA2、村山版の意匠を参考に版下を作り直していると認められるものはA3と識別して、表記している。

この識別方法を具体的に説明すると、「相生獅子の図版」においては、④の無刊記版の本文がこのA2にあたる。本文の第四行の六文字目、同行の下から五文字目、最終行の九文字目について、村山版と用字が異なっている（表紙についても版面の流用が認められるが、これについては注（1）の拙稿を参照されたい）。また、本屋儀兵衛版の例として、「衣かづき思破車」（表紙と本文初丁表）の図版を⑤に掲げた。⑤—a村山版に対して⑤—b本屋儀兵衛版の本文は、やはりA2の関係にあるのだが、音曲本にとって重要な要素である墨譜や文字譜もそのまま流用されている。

このように元版との間に版面の覆刻関係が認められながら、伊賀屋や村山源兵衛と相版を組んでいない場合には、偽版（無断出版物）の可能性が考えられる。「中村座板元」と村山版の奥書に入る例が多くなるのも、偽版に対する対抗策と受け取れる。<sup>13)</sup>

重版・類版の概念規定については、大坂本屋仲間記録『上組濟帳標目』に残された、享保十二年（一七二七）正月に江戸十軒店月行事が役所へ差し上げた文書がよく引用されるが、これは本屋仲間（江戸では書物問屋仲間）を対象としたものである。ここでは、前述の『義太夫公訴一件』から、二代目の蔦屋重三郎の倅祐助が天保

四年（一八三三）正月二十六日付で寺社奉行へあてた返答書の一部を、地本（江戸の草紙類）における重版の参考資料として引用する。大坂の丸本株所持者である紙屋与右衛門と糸屋七五郎が、三河屋喜兵衛・蔦屋重三郎のほか江戸の抜本版行者三人を相手取り寺社奉行に出訴したため、江戸の抜本版行者や地本問屋行事が吟味を受け、抜本版の来歴や慣行について文書を提出しているのである。

一体重板与申儀は、外持主之摺本を以板下二仕、彫刻致候を重板与唱申候。重三郎方二而売候稽古本之儀は、板下別二相認彫刻仕候得は、全重板与申義は更ニ無之<sup>14</sup>

これをそのまま解釈するならば、外持ち主の摺本（すなわち他人が板株と版木を所有して摺った版）を版下にとつて彫刻すると重版になる。一方、蔦屋重三郎の版行する稽古本は、版下を別に認め彫刻しているので重版ではないということになる。ただし、「板下別に相認め」というのは、蔦屋重三郎が抜本株と版木を地本問屋仲間の濱松屋幸助から文政九年（一八二六）中に譲り受けていることや、版下は江戸で操座に出勤する太夫から直に受け取る下書から作成していることが引用部分の前後に書かれているため、丸本を流用した版下作りを意味している訳ではないようである（しかし、大坂の丸本株所持者から抜本株は無株と認識されている）。筆者はあいにく江戸版

義太夫抜本の伝本調査を十分に行つておらず、丸本と抜本の脈絡からこの引用部分を読み解く材料を持ち合わせていない。ただ「外持ち主の摺本を以て板下に仕り彫刻致す」という記述は、断片的ではあるが、丸本と抜本の関係を斟酌せずとも、重版の内容を具体的な手法によつて説明する証言になっていると思われるのである。そして、蔦屋は地本問屋行事を務め、富本正本の版元でもあったことから、この重版に対する認識は、音曲正本の版行に携わる地本問屋の間で、ある程度共有されていたと推測される。

この引用部分を、本屋儀兵衛版・無刊記版から読み取れる版面の状況に照らし合わせてみるならば、A1は重版。A2・A3も外持ち主の版の流用であるから重版となろうが、あるいは重版に対する抜け道として、江戸で通用していた手法であった可能性も窺える。だが、いずれも伊賀屋や村山の上演時に正本を出す権利に不正参入しようとする行為であることは明らかである。

表1で見ると、宝暦期（安永六年（一七七七）三月の間、村山源兵衛版に酷似する版が正本と並行して出ており、村山は事実上の重版によつて、初版を出す権利を侵害されたままの状態であることがわかる。ただ、本屋儀兵衛版や無刊記版においては、座名から「座」を除く表記がよくとられている。これは公許の興行権者である座元に対し憚りがあったためと推測され、正本との差別化は一応はかられていたと見られる。音曲の詞章や上演情報は座から提供されるも



のであるから、このように偽版が横行する背景には座側の容認姿勢があったと考えられる。おそらく宣伝の益をとって黙認していたのであろう。

### 三 相版化

表1に続いて、表2の安永六年（一七七七）十一月から、村山源兵衛は本屋儀兵衛と相版を組むようになる。重版・類版は、版元にとって版の作製にかかる経費の回収を妨げる存在であるから、その版元を相版元にするにはよくとられる方法であった。表1の状態から脱し、一応弁済措置がとれるように状況が変化したものと推測される。また、村山源兵衛が本屋儀兵衛を相版元になると、無刊記版も出なくなっているのも、無刊記版は本屋儀兵衛が出していた可能性もある。

だが、表3の天明二年（一七八二）十一月から、村山源兵衛は松本屋万吉を相版元とする。本屋儀兵衛は相版元からはずれ、天明二年（一七八二）十一月上演の「めりやす雪月花」を単独で版行しているが、この表紙では座名が「中村」となっており、やはり「座」の文字が入っていない。

〔画入読本〕外題作者画工書肆名目集』に「一、貸本屋世利本渡世の者にて手広にいたし候者名前」とあるが、そこに「南鍋町一丁

目 宇多閣 本屋儀兵衛<sup>15</sup>と出てくるため、本屋儀兵衛は文化期頃（一八〇四〜一八一七）には芝居町の入り口である江戸橋四日市から移転して、長唄本の版行から手を引いていたようだ。

正本版元の村山源兵衛は中村座の顔見世番付を明治期にわたって版行している。また、市村座の専属版元である泉屋権四郎は紅絵の一枚摺りを始めた版元であり、森田座の専属版元江見屋も錦絵の見当の考案者として知られる版元である。ゆえに表1〜表3の時期における三座の専属版元は、芝居絵や劇場出版物を専門に扱う中小規模の出版工房であったと見られる。

この時期までの版行上の特徴は、座と専属関係にある版元が形成され、長唄正本の版行を独占するようになったことであるが、その版行の権利は、新作の上演時（すなわち初版）に限られていたと考えられる。というのも、座の専属版元（中村座にあっては村山源兵衛）による再版本が伝存しないからである<sup>16</sup>。先に引用した『明和伎鑑』に「三芝居番付版元」と括られているのは、それらが基本的には一興行で板木を使い切る一過性の出版物であったことを示している。

そして、座の専属版元が形成されると、その利権に不正参入しようとする偽版が現れるようになる。表1〜表3は、偽版の版行状況を示すために、正本の版元である伊賀屋版や村山版と、本屋儀兵衛版・無刊記版だけを取り出して、それぞれの本文の関係を表したも

のである。しかし、「相生獅子の図版」に掲げた㊶㊷に見られるように、非常に流行った曲は本屋儀兵衛版や無刊記版のほかに、多くの版元が版行を手がけている。それらの異版については、表の本屋儀兵衛版と無刊記版の横に欄を設けることができなかつたので、「後版」として別表にまとめており、本稿の「五」で触れることとする。

#### 四 版元の交代

続く表4では、天明六年（二七八六）に沢村庄五郎の名が版元にあがってくる。沢村庄五郎は、翌年天明七年（二七八七）三月に『名に響／日出扇』を刊行している。<sup>17</sup>江戸から上った中村仲蔵が大坂中村座で「義経千本桜」に出た折の芸評を載せた評判記である。この役者評判記に関する記述が、『秀鶴随筆』坤の巻の冒頭に次のように出てくる。

江戸堺町沢村油麩（店）より、大坂評判記参申候、日出扇、大慶仕申候<sup>18</sup>

『東都劇場沿革誌料』上巻の「役者名目商店のこと」にも、

鬢付油 堺町 家主 沢村屋利兵衛  
 絵草紙商仕、目印丸にいの字紋所付申候、延享二年開店二代  
 目宗十郎持也、  
 天明の頃今の利兵衛引受けたり<sup>19</sup>

とあることから、沢村庄五郎と沢村屋利兵衛は同じ人物の可能性が高い。沢村屋利兵衛は、二代目宗十郎の芝居町によくある役者グッズを扱う油店（ドラッグストア）を引き継いで絵草紙屋を兼ねた店を経営しており、堺町の家主でもあったようである。

先に引用した『明和伎鑑』は明和六年（二七六九）の刊行であったが、三升屋二三治の『賀久屋寿々免』（弘化二年〔二八四五〕秋脱稿）第三巻にも、劇場出版物と専属版元の関係を示す記述があるので、その部分を掲出しよう。

#### 三芝居板元

|     |   |       |       |
|-----|---|-------|-------|
| 中村座 | <small>役者附<br/>番附</small>                     | せともの町 | 村光源兵衛 |
| 同   | <small>絵本おふむ石長<br/>うた薄もの本</small>             | さかい町  | 沢村利兵衛 |
| 市村座 | <small>番附絵付おふむ<br/>石長うた薄もの</small>            |       | 山本重五郎 |
| 同   | 役者附   |       | 福地茂兵衛 |
| 森田座 | <small>番附絵本役者附<br/>すものおふむ石<br/>河原崎座とも</small> | 田所町   | 小川半助  |

河原崎座

役者附

芝福前

丸屋甚八

福地茂兵衛、山本重五郎ハ、名前株持ち主ゆゑ、住所外名

前故相糺さす。爰にしるすのみ。両家とも猿若町二丁目、

茶屋也。近年三座とも版下、今の清水正七認る。中頃迄、

山本重五郎・高麗屋金三郎、番附を書し事。<sup>20</sup>

『明和伎鑑』の記述と比較すると、中村座の番付版元が村山源兵衛であるほかは版元が入れ代わっている。村山源兵衛の所在が瀬戸物町になっており、これは表4の寛政元年（一七八九）以降と対応する。だが、森田座の小川半助の住所が田所町とあるので、この記載は享和三年以降のものとなる。中村座の長唄薄物の版元は、さかい町沢村利兵衛となっており、伝本の状況と一致する。

表4を見ると、当初は村山源兵衛と相版のかたちをとっているが、次第に沢村屋が単独で中村座の正本版元となる様子がわかる。そして、これに伴い、版行形態にも大きな変化が起きているのである。

寛政三年（一七九二）正月の上演の「対面花春駒」を例にとり説明しよう。次頁と次々頁に「対面花春駒の図版」を掲げる。右側が表紙、左側は本文の終丁裏である。

初版は、沢村屋利兵衛が村山と相版で出している㊦の版である。次いで、同時期にその下の㊧の、版元名から村山と記された部分を削りつつ同版本が出たと考えるのが順当であろう。㊨の沢村屋利

兵衛版は、奥書に初演時の刊年が入っているが、役者絵や本文の文字の大きさ・書体から見て後の版である可能性が高い。参考として、「対面花春駒」の二カ月後に上演された長唄曲「五月菊名大津絵」の正本㊩を掲げた。これは書体や行数に初版本の体裁が備わり、上演時の刊年と蔵板表記も入っている。

おそらく、㊧においても、この㊩と同様に、巻末に刊年および「沢村蔵板」と入る版が存在したのではないかと推測するが、あるいは村山との関係から蔵版の表記を入れるのが遅れた可能性も考えられる。

次に㊥の版を見ると、版面が擦れてやや読み取りにくいと奥書きに、

原板 寛政三亥年正月吉日  
再板 文政九戌年九月吉〔日〕  
沢村蔵板

とある。さらに㊦では版元の欄に丸屋鉄次郎が求版者として記されており、沢村には板賃（版木使用料）収入があったと推測できる。ここで注目すべき点は、正本版元の沢村屋利兵衛が蔵版者と明記され、上演時の初版だけではなく、再版をも出すようになってきているとである。

再び表に戻って、都座に興行権が移る表5を見ると、沢村屋は初

[対面花春駒の図版]



①  
村山源兵衛版・沢村屋利兵衛  
相版 早稲田大学演劇博物館  
安田文庫特イ11-1212-26C



②  
沢村屋利兵衛版 早稲田大学  
演劇博物館特ト13-443-92



③  
沢村屋利兵衛版(寛政三年刊  
記) 国立音楽大学附属図書  
館竹内文庫 07-0803



㊦

沢村屋利兵衛再版（文政九年）  
国立音楽大学附属図書館竹内文庫 07-0808



㊧

沢村屋利兵衛原版・丸屋鉄次郎  
求版 国立音楽大学附属図書館  
竹内文庫 07-0811



㊨

「五月菊名大津絵」 沢村屋利兵衛版 早稲田大学演劇博物館安田文庫特イ 11-1212-26D



版においては相版元あるいは賣所として名を出しているが、再版は単独で版行している。次に、中村座に興行権が戻る表6になると、沢村屋は版元に戻り、再版に際しても沢村屋と他の版元との相版のかたちがとられていて、沢村の原版に対する所有権が守られていることがわかる。管見によれば、寛政期以降に中村座で上演された長唄曲で、沢村屋以外の版元が沢村と相版を組まずに版行しているのは、一例だけである。それは寛政十一年（一七九九）十一月上演の「牛飼室梅花」うしかいしむらのはな 山本平吉・和泉屋市兵衛の相版本で、表6では便宜上「沢村屋版Ⅱ種」の欄に入れてある。

なお、「蔵板」の表記は中村座の沢村利兵衛版にのみ見られ、市村座・森田座の正本にはそれぞれ一例ずつ確認できたのみである。<sup>21</sup> だが、市村座・河原崎座においても、多少の时期的なずれは生じていても、ほぼ時期を同じくして座の専属版元が交代し、これに伴い初版だけではなく再版をも出すかたちに長唄正本の版行形態が変化する。市村座では天明四年に控櫓の桐座へ興行権が移り、長唄正本の版元も泉屋権四郎から富士屋小十郎へ代わる。そして天明八年（二七八八）十一月に桐座から市村座へ興行権が戻るのだが、その際に版元も市村茂兵衛・山本重五郎・富士屋小十郎の相版へと代わっている。また、寛政三年（一七九二）十一月には森田座においても興行権が河原崎座に移行し、長唄正本の版元が小川半助に代わる（詳しくは注（一）拙稿参照のこと）。このように、江戸版の長唄

正本は、三座ともに版行形態の変化を見せているのである。

## 五 「後版」グループ

それでは、これまで検討してきたことを踏まえて、再度59～61頁に掲げた「相生獅子の図版」を見てみたい。相生獅子の版種は、次の三つに分けて捉えることができるであろう。

① 上演時正本としての村山版<sup>㉗</sup>。

② 村山版が出た直後に村山版を流用して作られ、観劇時の需要に便乗したと見られる偽版<sup>㉘</sup>。

③ ㉗から㉘の版は、上演後時を隔てて、流行った曲を需要に応じて様々な版元が版行したものと考えられる。それを「後版グループ」と位置付けて呼ぶことにする。このなかに<sup>㉙</sup>の沢村版が入るのはもちろんのことである。

この③は別表「後版」にして、表6の後に掲げている。<sup>22</sup> ㉙印は版種が複数伝存することを示す。「後版」表を見ると、富士屋小十郎以下、多田屋利兵衛まで十二軒の版元が版行を手がけている。人気曲で需要があったため、多くの版元が版次を重ねて後々まで版行したのであろう。「後版」の表紙には「稽古本」と記載されている例も



少なくない。

重要な点は、「後版」の長唄曲は、いずれも初演が表1～表3の時期であることだ。よって、この「後版」表は、沢村屋利兵衛が中村座の版元となる前の時期の、座との間に独占的な版行の権利は成立していても、蔵版という意識がまだなかったために、複数の版元が再版を出せる状態を示していると考えられるのである。ただし、

これにも例外が一つ存在する。「一奏現在道成寺」は寛延二年（二七四九）三月上演の長唄曲で、初版の正本は伊賀屋から出ている。

再版本が国立音楽大学附属図書館の竹内文庫にあり、大字六行本で、「後版」の体裁をとる。これには版元名が「元はま町伊賀屋勘右衛門原板／ふきや町富士屋小十郎再板」と記されている。伊賀屋勘右衛門は「義大夫公訴一件」のなかに地本問屋仲間行事としてその名が挙がっているため、富士屋に対するいは原版の権利を主張できたのかもしれない。

そして、表4の寛政三年（二七九二）以降と表6、すなわち沢村屋利兵衛が中村座の長唄正本の版元になってからは、沢村の原版所有者としての権利は再版時においてもほぼ守られていると言つてよいであろう。したがって、専属以外の版元が沢村屋と相版を組むことなく版行を行うことは起きていない。先に述べた「牛飼室梅花」山本平吉・和泉屋市兵衛相版本が例外的に見つかるのみである。

「後版」グループの版元は、出版の権利がまだ上演時に限られて

いた時代の作品について、再版本を出していたと考えられるが、その場合には座と版元との間に特定の関係は存在せず、三座のいずれかで当たって流行った作品を版行していたようである。

以上のことから、中村座の長唄正本において株板化は、寛政期に起きたと判断してよいであろう。

それではこの「後版」において、沢村屋利兵衛は中村座の専属版元として、村山版の版權を引き継いでいるのだろうか。正本の版行において、沢村屋は当初村山と相版を組んでいるので、その可能性も十分に考えられる。確認してみよう。

「後版」表の沢村屋利兵衛の欄を下に見ていくと、三段目の「京鹿子娘道成寺」の複数ある版種のうちの一種に「沢村屋利兵衛正」と見つかる。だがそれ以外は、村山源兵衛との相版は見当たらず、十二の版元のなかで沢村屋が正本版元であることを示す徴証は出てこない。

ただ、沢村屋版に「再板」と入っているのが目に付く。これはおそらく、村山版の再版というよりは、沢村自身の作った原版に対する再版を意味しているのではないかと思われる。なぜならば、市村座上演作品の「後版」においても、沢村版には「再板」と入れてある例が多く見つかるからである。元来、沢村屋利兵衛版には他の版元には見られない蔵版者や版次（刷次の場合もあり）についての情

報が記されている。

「後版」は正本に比べて、国内外の所蔵機関に多数伝存しているのだが、現調査段階では、後版において特定の座と版元の専属関係は認められない。「後版」表で、天明元年（一七八二）十一月上演の「我背子恋の合槌（別称蜘蛛拍子舞）」の四列目を見てほしい。◎印の横に記載した福地茂兵衛・山本重五郎・富士屋小十郎は、天明八年（一七八八）十一月から市村座の専属となる版元であるのだが、伊賀屋と相版を組んで、中村座上演作品を版行している。原本は国立音楽大学図書館竹内文庫・明治大学図書館に伝わり、その表紙には「四天王宿直着綿 第一番目三立目」と中村座の初演時の大名題が入り、「中村座」と座名もある。福地茂兵衛は市村羽左衛門の後見をつとめ、座元に近い親族の一人である。そうした版元が中村座上演作品の「後版」を出しているのである。

一方、沢村屋利兵衛もまた、他の二座すなわち市村座（桐座）・森田座（河原崎座）で当たった曲の後版を版行しており、特に市村座上演の作品については多くの曲を版次を重ねて出している。

後版を出すのは、「後版」表に掲げた版元にはほぼ定まっている。

また、「後版」には本屋儀兵衛版や無刊記版に見られるような、座名から「座」の文字が除かれる例は見られない。

## 六 株板化の要因

「後版」の存在によっても、寛政期に株板化の起きていることが裏付けられたと思う。それでは、こうした変化がなぜ起きているのだろうか。

表4で再度確認すると、中村座で沢村庄五郎の名が版元に挙がってくるのは天明六年（一七八六）からである。しかし、沢村屋利兵衛による再版は、寛政元年（一七八九）七月上演作品の「八朔梅月の霜月」からとなる。その沢村屋利兵衛版1種の再版本の奥書には「寛政元酉年七月吉日 再板 沢村蔵板」とあるのだが、沢村の蔵版は初演時と見て一応よいであろうか。伝本上は、この作品から沢村屋利兵衛が再版・再々版をも出す版行形態に変わっている。補足すると、森田座においても、河原崎座に興行権が移る寛政三年（一七九二）十一月に長唄正本の版元が小川半助に代わり、翌寛政四年十一月上演作品の「花車岩井扇」から再版本（七種あり）が伝存する。

したがって、蔵版あるいは版行形態の変わる作品の年代に、その変化の理由を求めるならば、出版取締令との関係が想起されるであろう。江戸では寛政二年（一七九〇）に地本問屋仲間が再結成され、十月には行事をたてて新本に対し自主検閲を行うことを盛り込んだ

申し渡しがなされる。長唄正本については、改めが行われていなかったことは冒頭で述べたとおりである。だが、こうした株板化は、地本にも版權を明らかにして幕府の禁令に抵触する内容かどうか吟味しつつ、重版・類版に対する取り締まりを強化する態勢が整えられたことに連動した動きであることは間違いないであろう。

ところが市村座では、もっと早い年代、すなわち天明四年（一七八四）十一月に、版元の交代と、初版の版元が再版をも行うという版行形態の変化が同時に起きているのである。その契機は、市村座から桐座への興行権の移譲である。その前の天明三年六月までは、市村座の専属版元は泉屋権四郎であることが伝本で確認できる。しかし、天明四年十一月には桐座に興行権が移り、このとき上演の長唄正本「狂乱雲井袖」から、桐座の正本版元は富士屋小十郎に代わるのである。そして富士屋は初版だけではなく、再版・再々版等を単独あるいは伊賀屋・森田屋と相版を組むかたちで出すようになる。次いで、五年間の約定による桐座の仮興行が済み、天明八年十一月に市村座に興行権が戻ると、長唄正本の版元も市村茂兵衛・山本重五郎・富士屋小十郎の相版となり、再版等に際してはこの正本版元と伊賀屋・森田屋金蔵との相版のかたちがとられている<sup>23</sup>。つまり、市村座では出版取締令より五年以上に、桐座への興行権移譲を機に版元の交代と事実上の株板化が起きているのである。そこには座側の意志を感じ取ることができよう。

前述したとおり、中村座の正本版元となる沢村屋利兵衛は堺町の家主であり、沢村宗十郎<sup>24</sup>の油店を継いで絵草紙屋株を取得している。一方、市村座でも天明八年（一七八八）十一月から、正本版元が福地茂兵衛・山本重五郎・富士屋小十郎の相版となる。そのうちの福地（市村）茂兵衛は、市村座の後見をつとめる座元の有力な親族と見られ、芝居茶屋株も有していたという。山本重五郎も葺屋町の芝居茶屋総代であり、この二人は『賀久屋寿々免』の「三芝居板元」に「名前株持ち主」と記されていることから、直接出版業を営んでいたわけではないらしい。そしてもう一人の相版元である富士屋小十郎については、『式亭雜記』（式亭三馬著）の文化八年四月五日の記事に、

ふきや町ふじ屋小十郎 めりやす長うた本のはんもととなり<sup>25</sup>

とあり、伝本上でも桐座（市村座の控櫓）の正本や多くの後版を単独で出していることが確認できるので、おそらく富士屋が出版実務を担当していたのであろう。とすれば、版元の交代については座あるいは芝居町の内部者が版元におさまったとの捉え方ができる。天明四年十一月から桐座の版元が富士屋小十郎に代わるが、桐座の関係者が版元として名を出さないのは控櫓の格であるためで、市村座に対する遠慮があったと推測する。

地本問屋仲間行事による自主検閲の再開は、版元にとってはむしろ出版環境の整備を意味する。にもかかわらず、なぜ芝居内部者への版元の交代が起きているのであろうか。ここで、株板化の起きる寛政期にかけての、三座の置かれていた状況に目を転じてみたい。

木挽町に立地し集客に問題を抱えていた森田座の場合は、当初から座の経営が安定せず、地代訴訟を度々経験してきている。それに対し、堺町の中村座、葺屋町の市村座は、幾度かの類焼を受けてはいるが、宝暦〜明和期に所作事が一つの絶頂期を迎え、安永期に入ってもまだ一応安定した座の存在があった。ところが、天明期に入ると市村座は経営に破綻を来しはじめる。その原因ともなる両座の火災の記録を天明〜寛政期にたどると、以下のようになる。

安永十年（一七八二） 正月九日、新材木町より出火、両座焼失（十年目）。

天明三年（一七八三） 十月二十七日、小伝馬町二丁目より出

火。両座類焼（三年目）。

天明六年（一七八六） 正月二十二日、湯島天神前より出火。

中村座（四年目） 桐座類焼。しかもこの

年は長雨により秋に大洪水がおきてい

る。  
寛政五年（一七九三） 十月二十五日、湯島雲州侯奥より出火。

### 両座類焼<sup>26)</sup>

この間、天明二年（一七八二）と四年（一七八四）に市村座では地代訴訟が起きており、天明二年にはかろうじて示談が調う。だが、天明四年の場合には、『安永撰要類集』によると、その額は「是迄之地代金千九百四拾兩余滞有之迷惑仕候」とあり、吟味の上、市村座は休座を申し付けられている。これについて葺屋町茶屋共拾人・煮売茶屋廿七人他から、左記の通り芝居興行存続の嘆願が出ている。

町内茶屋其外芝居懸之者共諸商人裏之軽キ者共迨家業無御座今日を送り兼難儀至極仕候（桐）長桐名題二而仮芝居為仕一同渡世為致度旨當六月中願出候二付追々吟味仕候處大借之羽左衛門儀二御座候故逆も芝居出来不仕

そして、これが認められたため、その明地は五カ年の約定で桐座の仮興行の場となるのである。しかし注目したいはその次の以下の文言である。

是迄類焼之度と並狂言相休候節共二追と金五百五拾兩余町内より合力いたし段々合力致尽候上之儀二御座候間何卒長桐名題二而葺屋町仮芝居申付候様相願候旨申之候<sup>27)</sup>

市村座が類焼を受け芝居興行を休む事態になると、芝居町関係者はお金を出し合って援助してきており、その高が五百五十両以上になると記されている。これによって、芝居興行を存続させるために芝居町ぐるみで資金の補填を行ってきたことが知れる。この天明四年の休座については、津村涼庵の見分随録である『譚海』巻の四にも「古来より羽左衛門借金十六萬四千四百両に及といへり」とあり、桐座仮興行については、以下のように言及されている。

ふきや町芝居休み困窮に及び、家主某世話にて金子をこしらへ、  
桐長桐座をはじめたる故、又ふきや町にぎはへり。天明四年七  
月中より普請はじまり、廿日の内に出来、やぐらをあげ興行に  
及ぶ。毎日家主立合世話致し、芝居失墜格別に減少し、山師の  
類一切懸り合に致さるゆへ繁昌す(傍線筆者)

すなわち、芝居興行の存続をかけて座の頭取・役者ばかりでなく、家主や芝居茶屋など芝居掛かりの者たちが金策や座の運営に深く関わって状況を打開しようとしていたことが窺われる。そして先に述べたように、この桐座仮興行に際してとられた方策の一つが、芝居町内部者への版元の交代と株板化であったと推測されるのである。<sup>28)</sup> さらに推し量れば、こうした動きに隣の芝居町である堺町も無関心でいられるはずはなかったであろう。

家主や座の後見者・芝居茶屋総代が長唄正本の版元に入っているのは、おそらく債権の代表者という立場に拠るのではないか。そして、その背景には、長唄正本が観劇用パンフレットから稽古本へと再版性の高い出版商品に成長してきたことがあり、その出版益を座や芝居茶屋など芝居町内部に直接取り込む方策がとられたと推測されるのである。夥しい数の後版や再版本が、今日に残っていることは、稽古本の当時の需要の多さを示しているよう。

寛政五年(一七九三)には、中村座と市村座の両座に地代金の滞りによる地立出入が起きて地所明け渡しと決まり、中村座は十月に都座へ、市村座は十一月に再び桐座へ、それぞれ五カ年の約定で興行権が移る。この時に町奉行へ出された中村座の地立願いの伺書には、当時中村座には地代金の滞りが佐兵衛方に三千百六十余両、吉五郎方に六百四十六両余、ほかに大借金を抱えているとあり、中村座も同様の逼迫した状況にあったことがわかる。

しかしそうした経営努力の甲斐もなく、名題役者の取り合いによる給金のつり上げ、数度の類焼による普請代、資金不足からくる内部紛争は不当たり続きへとつながって、ついに自力での立て直しは叶わず、寛政六年(一七九四)十月には「三芝居狂言座取締方議定証文」により役者の給金の上限が引き下げられ、座組は三座申し合わせの上で決めることとなり、互いに役者を高給金で囲い込まないよう助動させることなど、様々な再建策が取り決められるのである。



## 七 天保期の芝居町移転後

寛政九年（一七九七年）、都座から中村座に興行権が戻ってからは、表6に見るように、長唄正本の版元も沢村屋利兵衛に定まっております。変化物の流行や豊後系浄瑠璃との掛合によって再び所作事が流行するが、享和・文化・文政期とそれ以降も版行上の目立った変化は起きていない（紙幅の都合上、表6への掲載は文化年間までとしている）。ただ、水野忠邦の天保の改革による引き締め政策に関連した、次の二つの事柄を挙げておきたい。

天保十二年（一八四二）十月七日に中村座より出火し、堺町・葺屋町の芝居町が焼失し、十二月には市中風俗改めの趣により、堺町・葺屋町両座と操芝居、そのほかこれに携わる町家が浅草聖天町へ（後猿若町に変更）移転を命じられる。これと対応して、伝本の上でも、天保十三年（一八四二）十月上演の「花童露草刈」から、沢村屋利兵衛の住所が「さるわか町老丁目」になっている。しかし、嘉永二年（一八四九）九月上演の「めりやす尾花の露」からは住所が再び「さかい町」に戻る。

また、天保十二年十二月には、天保の改革の一環として株仲間解散令が発せられる。だが、株仲間廃止の結果が好ましくなかったため、幕府は嘉永四年（一八五二）に問屋組合の再興を図っている。

『諸問屋名前帳』<sup>⑧</sup>（国立国会図書館蔵）には、それ以降の本組と仮組の問屋名と住所などが記載されているが、その「地本双紙問屋」仮組のところには、

中村座の版元として、

沢村屋利兵衛（猿若町一丁目家主）

村山源兵衛（安政二年八月加入、室町二丁目家主）

市村座の版元として、

山本重五郎（文久元年六月加入、猿若町二丁目惣左衛門地借）

森田座・河原崎座の版元として、

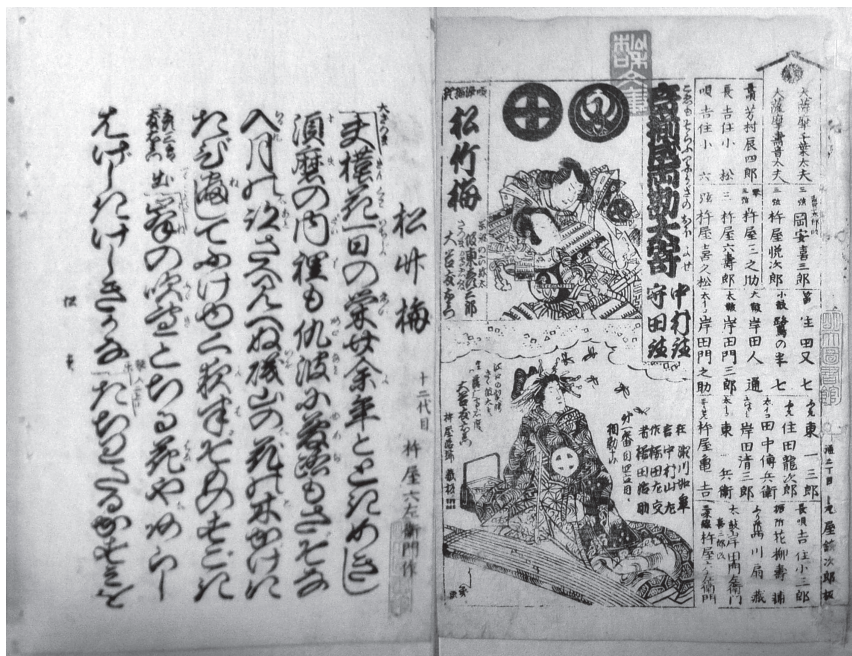
小川屋半助（嘉永六年十二月加入、御所町茂八店）

の名が挙がっており、嘉永四年問屋組合の再興後に新規加入していることがわかる。これにより、本組の仲間規定に加わったと見られる。なお、本組には「後版」表の版元のうち、山本平吉、伊賀屋勘右衛門、葛屋重三郎の名が記載されている。

猿若町に移転してからは集客に問題を抱え、三座は幕末から経営不振に陥り弱体化していく。長唄正本も、沢村屋利兵衛の原版は丸屋鉄次郎に求版されて出ることが多くなる。

しかしそれと同時期に、「杵屋藏板」・「芳村藏板」といった長唄演奏者の蔵版本が現われ始める。例として、図⑤に「松竹梅」正本を掲げた。これは、明治元年（一八六八）九月に中村座・守田座の合併興行「音揃両勘大寄」の第一番目四立目上演された作品で、





④ 『(唄浄瑠璃) 松竹梅』(表紙と本文初丁表) 丸屋鉄次郎版・杵屋治郷蔵板 明治大学図書館 松和文庫旧蔵

外題には唄浄瑠璃と角書が付くが、大薩摩との掛合による長唄曲である。表紙右下の枠外に「通二丁目 丸屋鉄次郎板」とあるが、左側の外題下に「杵屋治郷 蔵板」と記載されている。本文の内題下に「十二代目杵屋六左衛門作」と作者署名があるため、「治郷」は十二代目六左衛門の俳名と推測され、作者が蔵版し、丸屋鉄次郎を支配人として版行されたと見られる。これは、仲間外素人が板木を所有する方法である。

明治二十年(一八八七)十二月には版權条例に伴い、脚本楽譜条例も制定され、脚本・楽譜も保護の対象となる。著作権法の整備に向けた出版令を先取りする動きが、やはりここでもすでに始まっているようであるが、幕末〜明治期のこの問題については稿を改めて検討したいと思う。

### おわりに

中村座上演の長唄正本について、その版行上の変化をたどり、寛政期に起きた株板化の問題を中心に検討を加えてきた。

江戸の出版業界では、京都・大坂の書店に始まったという経緯もあり、重版・類版の規制が緩い特有の商慣習が形成されてきた。そのような中で、江戸歌舞伎は、草紙(地本)の世界に江戸根生いの文化的価値を創り出す、一つの源となってきたのである。ゆえに、

歌舞伎がその時代の空気を先取りし観衆の支持を得るほどに、それは江戸の草紙（地本）の充実へとつながっていったに違いない。

長唄正本は享保期に版行が始まり、その後も体裁を変えることなく明治期まで版行され続けている。長唄正本は、それ自体が舌禍事件や奢侈取り締まりの対象になることはなかった。けれども、そこには地本界のその時々々の趨向が反映されているように思われる。重版・類版のあり様、出版者の版權確立の過程等々は検討してきたとおりである。

歌舞伎は役者至上主義のエンターテインメントを追求するあまり、天明期から深刻な経営難に陥る。そのとき、芝居町内部での経営に対する合理化の動きと、地本問屋仲間の再興という地本界の趨向とが相まって、長唄正本の株板化は起きたと考えられよう。

#### 注

(1) 拙稿「江戸版長唄正本にみる版行形態の変化——享保〜寛政三年にいたる中村座の場合」〔東海大学国際文化学部紀要〕創刊号、二〇〇九年、「江戸版長唄正本にみる版行形態の変化——享保〜寛政期にいたる市村座の場合」〔東海大学国際文化学部紀要〕第二号、二〇一〇年、「江戸版長唄正本にみる版行形態の変化——享保〜享和期にいたる森田座・河原崎座の場合」〔東海大学国際文化学部紀要〕第四号、二〇一二年。

(2) 長唄正本における板株化の視点は、佐藤悟「地本論」〔読本研究新集〕第一集、翰林書房、一九九八年）においてすでに指摘されている。

(3) 江戸時代においては、儒書・仏書・神書・医書・漢籍・古典・歌書などの堅い内容の「物之本」と、娯楽的庶民的内容の「草紙類」は分けられていた。物之本は物之本屋（江戸では書物問屋）が扱い、仲間を結成した。これに対し草紙類は草紙問屋・絵草紙問屋が扱った。

(4) 蒔田稲城「京阪書籍商史」（出版タイムス社、一九二八年）、稲岡勝「蔵版、偽版、版——著作権前史の研究」〔東京都立中央図書館研究紀要〕第二十二号、一九九二年）、朝倉治彦・大和博幸解説〔享保以降江戸出版書目（新訂版）臨川書店、一九九三年）、藤実久美子「武鑑の出版と書物師出雲寺」〔江戸文学 江戸の出版Ⅱ〕第十六号（べりかん社、一九九六年）、『日本古典書誌学辞典』本屋仲間の項（岩波書店、一九九九年）などを参考とした。

(5) 江戸出来の草紙類、絵本・草双紙・江戸浄瑠璃本・芝居音曲本・浮世絵などは地本と呼ばれ、これらは江戸の地本問屋が出版・販売に携わった。

(6) 江戸の地本問屋が版行する義太夫大字五行・六行の段抜床本（抜本）が大坂方の所持する義太夫丸本株の重版・類版に当たり差障るとして、天保三年九月に、大坂の書物問屋紙屋与右衛門と糸屋七五郎から大坂本屋仲間年行事の手紙を添えて、江戸の書物問屋行須原屋源助に申し出があった。三河屋喜兵衛・葦屋重三郎ら江戸の抜本に携わってきた地本問屋五人は、この申し出を不服とし示談に応じず、先手を打って、天保三年十月二十九日に須原屋源助を相手取り町奉行所へ出訴した。一方、紙屋与兵衛ら大坂の書物問屋とこれに与する江戸の書物問屋三組行事側も、十二月に三河屋喜兵衛・葦屋重三郎らを相手取り寺社奉行に出訴したため、天保四年二月九日に町奉行所へ引き渡しとなって争われた。江戸の抜本版元側・江戸書物問屋行事側・大坂丸本株所持者（大坂書物問屋）側の各訴訟記録からなる。鈴木俊幸「江戸板義太夫本訴訟始末（上）」〔中央大学文学部紀要〕第八十三号、一九九九年）を参考とした。

(7) 山根為雄解題校注「義太夫本公訴一件」〔日本庶民文化史料集成第七卷

人形浄瑠璃』三二書房、一九八三年）八三頁下段〜八四頁上段。

- (8) 三升屋二三治「作者年中行事」参之卷（『日本庶民文化史料集成第六巻 歌舞伎』三一書房、一九七九年）六九七頁。

- (9) 芸能史研究会編『日本庶民文化史料集成第六巻 歌舞伎』（三二書房、一九七九年）三六三頁上段。

- (10) 長唄原本集成刊行会編『長唄原本集成』巻一〜十四（長唄原本集成刊行会、一九三六年〜一九三九年）。

- (11) 「相生獅子」を本論文の図版に選んだ理由は、座の専属版元の形成と、それに伴う偽版の出現、多数の後版の存在など、表1の版行の状況を説明するのに十分な伝本が揃っているからである。だが、「相生獅子」の上演は明和六年だけではない。

中村座 享保十九年一月 十八公今様曾我 第三番目 いがや版  
 中村座 明和六年二月 曾我模様愛護若松 第二番目 村山源兵衛版  
 市村座 安永八年四月 蝶千鳥若栄曾我 第二番目大詰 泉屋権四郎版  
 市村座 寛政元年三月 恋こいのまがな便なが仮名書曾我 第二番目 市村茂兵衛・山本重五郎・富士屋小十郎相版

と、四種の「相生獅子」の長唄正本が伝存する。それぞれ大名題や演奏者は異なるが、本文は寛政元年の正本に増補部分が加わるものの、ほかはほぼ同じである。代々の瀬川菊之丞が、家の芸として相生獅子を披露する際に版行されたものである。明和六年以降の三種の正本が再版の扱いはないことに、長唄正本の劇場出版物としての特殊性があらわれている。また、明和六年上演のものだけに、異版が多く存在する。本稿では明和六年上演の村山版と、「曾我模様愛護の若松」の大名題を持つ異版の関係を取り上げていく。

- (12) 『御触書寛保集成』三五五（二〇二〇）（岩波書店、一九六〇年）の享保七寅年（一七二二）十一月「新板書物取締之事」五カ条の第四に、

一、何書物ニよらず此以後新板之物、作者并板元之実名、奥書ニ為致可申候事

とあることによる。ただし、まだ地本を対象とした触れではない。

- (13) 河東節は江戸浄瑠璃であるが、その祖十寸見河東は長唄に先行して享保初期から歌舞伎に出勤している。小松屋が正本版元である。しかし、いがや・奥村屋・井筒屋・近江屋なども河東節の音曲本を手がけており、その中には小松屋の本文を版下に流用した版がすでに存在する。小松屋では正本の表紙に、「河東直伝之正本ハ／小松やよりほかに無之候所ニ／此ころるいはん相ミへ申候／河東／正めいの／本にハ此如の判形ヲ致／令板行者也能と御吟／味被御求可被下候」と載せて偽版の存在を明言し、対抗措置として太夫の印章（判形）を入れ差別化を図っている。拙稿「河東節正本の版行二関する一考察——江戸歌舞伎における初期の音曲正本と位置付けて」

（『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』第十九号、二〇〇六年）参照。  
 長唄正本においては、このような偽版の存在を示す文言は見つからない。宝暦六年（一七五六）三月市村座上演のせりふ正本の奥書に、「浄るり／せりふ／長うた／市村座はんもと／右之外狂言なだいづけ。やぐら下。一まいすりのゑ外今一切出シ不申候」とあるのが、唯一の例である。この違いは、浄瑠璃太夫が座元や家元であるのに対し、長唄の演奏者は座に属し、長唄正本は芝居座元の権限が反映した出版物であることによると考えられる。歌舞伎の座元側では宣伝の益をとって、偽版の存在にはこの時期鷹揚であつたと推測される。

- (14) 前掲注(7)「義太夫本公訴一件」八七頁。

- (15) 松本隆信「画入読本外題作者画工書肆名目集」（『国文学論叢第一輯 西鶴 研究と資料』至文堂、一九五七年）。

- (16) 長唄正本は際物であつたため、所作事が当たつた場合には、直ちに村山は初刷りを板下にとり、同じ彫師の手になる板木を別に作つて部数を増やす手段をとつたと考えられる。というのは、同版に見えながら、墨刷り部

分の木目の異なる版が存在するためである。また、翌興行へロングランを続けた場合には、再印も行われたであろう。

(17) 原本が大阪府立大学の椿亭文庫にあり、その奥書に「于時天明七未三月廿三日／正名板元 大坂道頓堀 敦賀屋吉右衛門／同江都堺町 沢村庄五郎」とあることを確認している。

(18) 森銃三ほか監修『新燕石十種』第五卷（中央公論社、一九八一一年）。

(19) 国立劇場芸能調査室編『歌舞伎選書六 東都劇場沿革誌料』上（国立劇場芸能調査室、一九八三年）。

(20) 「賀久屋寿々免」（『日本庶民文化史料集成 第六卷歌舞伎』三一書房、一九七九年、六四八頁下段）。

(21) 市村座の長唄正本『所作 男舞楓顔色』（『白旗世界樹全鏡 第一番目三立目』天保九年六月上演）の奥書に「ふきや町 山本重五郎蔵板」とある。

森田座の長唄正本『めりやす 時雨の紅葉』の奥書に「安政三丙辰年顔見世狂言／はんもと小川半助蔵板」とある。いずれも早稲田大学演劇博物館安田文庫旧蔵本である。

(22) 後版表に記載した版については、伝本の数が非常に多いため、所蔵場所と架蔵番号を本論文に載せていない。

(23) 前掲注（1）拙稿「江戸版長唄正本にみる版行形態の変化——享保／寛政期にいたる市村座の場合」の表1による。

(24) 沢村宗十郎は、天明／寛政期に中村座に属しており、寛政六年十月の都座仮興行では座頭を務めている。

(25) 『統燕石十種』一（廣谷国書刊行会、一九二七年）。

(26) 「江戸三座焼失一覧表」（西山松之助編『江戸町人の研究』第五卷、第三章「江戸三座と遊郭の炎上」所収、吉川弘文館、一九七八年）。『東都劇場沿革誌料』（注（17）前掲書）寛政五年の項による。

(27) 『安永撰要類集』二十八、三芝居之部（国立国会図書館）。

(28) 津村涼庵「譚海」（『日本庶民生活史料集成』第八卷、三一書房、

一九八五年）。

(29) さらに補足すれば、森田座においては宝暦十四年（一七六四）から、狂言方もしくは勘定方と覚しき人物金井半兵衛が長唄正本の版元に入り、上村吉衛門（江見屋）と相版を組むかたちをとる。しかしまだ再版は手がけておらず。再版を行うようになるのは、寛政三年（一七九二）に河原崎座へ興行権が移り、版元が小川半助へ交代してからである。

(30) 国立国会図書館編『旧幕引継書目録 諸問屋名前帳』（湖北社、一九七八年）。

#### 付記

本稿は、平成二十四年度日本近世文学会秋季大会における口頭発表をもとにまとめたものです。資料の閲覧に際して御高配を賜り、図版掲載を許可下さった諸機関に厚く御礼を申し上げます。

〈初版と異版の関係表〉(表 1-6)に分割して表示)

\*この表は『東海大学国際文化学部紀要』創刊号(2008年)に掲載したものを、加筆訂正して作成した。

表 1 〈中村座〉

| 上演年月   | 曲名(外題)    | 版元1(元版)                            | 内題下述者/筆耕/胡・譜   | 版元2                          | 本居徳兵衛版            | 無刊記版I種 | 無刊記版II種       | 無刊記版III種            | 無刊記版IV種 |
|--------|-----------|------------------------------------|----------------|------------------------------|-------------------|--------|---------------|---------------------|---------|
| 享保16・2 | 傾城無間鐘     | 鱗形屋商標・透写<br>奥書「〜菊之丞相勤申候」           | 胡・譜有           | 元濱丁いがかや、同版かA1<br>内題と奥書無、胡・譜有 |                   |        |               |                     |         |
| 享保16・2 | 無間鐘新道成寺   | 堺町中嶋屋                              | 譜有             | 元濱丁いがかや                      |                   |        |               |                     |         |
| 享保17・1 | うしろめん     | 堺丁中馬屋(本文無)                         | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 享保19・1 | 相性獅子      | いがかや                               | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 元文4・4  | 鳥羽の恋塚     | 元濱丁いがかや、奥書「右ノ坂田兵四郎直傳を以令板行候」        | 胡・譜有<br>「鼓うた」有 | 明和6・2の村山版A3                  |                   |        |               |                     |         |
| 元文6・2  | 高野道行歌祭文   | 元濱丁いがかや・透写 奥書「大薩摩主膳太夫直傳之以正本令板行也」*1 | 譜有             | 権丁四丁目泉屋権四郎 胡譜有               |                   |        |               |                     |         |
| 元文6・2  | 一奏勢熊坂     | 元濱丁いがかや・透写                         | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 寛保1・8  | 兵四阿屋造     | 元濱丁いがかや・透写                         | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 寛保4・2  | 百千鳥娘道成寺   | 元濱丁いがかや・透写                         | 胡・譜有           |                              |                   |        |               |                     |         |
| 延享3・11 | 初見雪米衣     | 元濱丁いがかや                            | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 延享4・11 | 山中対面の道行   | 元濱丁いがかや                            | 「上るり」有         |                              |                   |        |               |                     |         |
| 延享5・1  | 掛合こと哥     | 〔綴目〕いがかや                           | 胡・譜有           |                              |                   |        |               |                     |         |
| 延享5・1  | 小妻重山吹海道   | 元濱丁いがかや                            | 胡・譜有           |                              |                   |        |               |                     |         |
| 寛延1・11 | (室吟)京人形   | 元濱丁いがかや                            | 下冊に胡・譜有        |                              |                   |        |               |                     |         |
| 寛延2・1  | 無間鐘       | 〔綴目〕いがかや                           | 胡・譜有           |                              |                   |        |               |                     |         |
| 寛延2・3  | 一奏現在道成寺   | 元濱丁いがかや                            | 胡・譜有           |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦3・1  | 今縁熊坂の段    | いがかや                               | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦3・2  | 京鹿子娘道成寺   | 元濱丁いがかや                            |                | 元濱丁いがかや本文無                   | 正銘版元、別版<br>II種と同版 | 別版     | 同版本儀版         |                     |         |
| 宝暦3・2  | 花の縁       | 元濱丁いがかや・後修本有                       |                |                              |                   |        | 別版            |                     |         |
| 宝暦3・7  | 一奏乙女姿羽衣所  | 元濱丁いがかや                            |                |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦4・2  | 分身鉄五郎     | 元濱丁いがかや                            | 「上るり」有         |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦4・2  | 夜鶴花集籠     | 〔綴目〕いがかや                           | 譜有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦4・2  | 江戸鹿子男道成寺  | 元濱丁いがかや                            | 「鼓唄・二上り」有      |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦4・2  | 英執着獅子(上冊) | 元濱丁いがかや                            |                |                              | 別版                | すべてと別版 |               |                     |         |
| 宝暦4・2  | 英執着獅子(下冊) | 元濱丁いがかや                            |                |                              | A1*2<br>別版        |        | I種と覆刻関係<br>A1 | 別版(上下二冊)<br>A1(上一冊) |         |
| 宝暦4・11 | 冬牡丹揚羽面影   | 元濱丁いがかや                            | 「上るり」有         |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦5・1  | 万歳具長掛合せりふ | 元濱丁いがかや                            | 胡有             |                              |                   |        |               |                     |         |
| 宝暦6・2  | やりおどり長哥   | 元濱丁いがかや                            | 「合」有           |                              |                   |        |               |                     |         |



| 上演年月    | 外題        | 版元(元版) 述/筆/胡譜                      | 版元2        | 本屋儼兵衛版 | 無刊記版I種          | 無刊記版II種               | 無刊記版III種        | 無刊記版IV種 |
|---------|-----------|------------------------------------|------------|--------|-----------------|-----------------------|-----------------|---------|
| 宝暦6・11  | 早映枕丹前     | 元寶丁いがや                             |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦8・11  | 寿相生羽衣     |                                    | 榎町二丁目泉屋権四郎 |        | 上一冊のみ<br>版元2とA2 | 上下冊版元2とA2<br>I種の上冊と別版 | 下一冊のみ<br>版元2のA1 | 上下一冊別版  |
| 宝暦9・1   | 舞扇子姥桜     | 高砂町村山源兵衛                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦10・5  | 舞鶴初丹前     | 元大坂町村山源兵衛                          |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦11・3  | 勝色桜丹前     | いづみ町村山源兵衛                          |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦11・3  | 髻梳名とり草    |                                    |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・3  | 芳野草       |                                    |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・3  | 遊行旅初桜     | いづみ町横通り村山源兵衛<br>(奥)「中村盛はんもと村山源兵衛1」 |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・7  | 男郎花       | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・11 | 紅葉賣       | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・11 | 一奏夕告鳥     | 村山源兵衛・透写                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦12・11 | 勝舞台名寄行列   | 村山源兵衛・透写                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦13・2  | 姥桜江島面     | 村山源兵衛・透写                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦13・5  | 旅渡の小唄     | 村山源兵衛・透写                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦13・5  | 峰雲皁墨染     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦13・5  | 夏柳島玉川     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦13・11 | 末広冬牡丹     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦14・2  | 舂摺引       |                                    |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦14・2  | 爪音幸教尽     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 宝暦14・4  | ねこのつま     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和1・8   | めりやす 袖の露  | 村山源兵衛<br>(奥)「中村盛はん元 高砂町村山源兵衛」      |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和1・11  | 御所風俗童丹    | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和1・11  | 縁結祝葛葉     | 高砂町村山源兵衛                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和1・11  | めりやす 親子草  | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和2・1   | 高砂町村山源兵衛  | 高砂町村山源兵衛                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和2・11  | 姿玉睡ながら袖丹前 | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和2・11  | 冬至睡ながら袖丹前 | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和2・11  | 花寄系図畑     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和2・11  | ふなつ文字     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和3・7   | 瓢染粗の山     | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和3・11  | 松吹袖砂路     | 村山源兵衛・透写                           |            |        |                 |                       |                 |         |
| 明和3・11  | 梅組葉二人物狂   | 村山源兵衛                              |            |        |                 |                       |                 |         |



| 上演年月    | 曲名・      | 版元 1 (元版) 述者/筆耕/胡・譜                      | 本屋儀兵衛版 | 無刊記版 I 種                               | 無刊記版 II 種       | 無刊記版 III 種        | 無刊記版 IV 種           | 無刊記版 V 種         | 無刊記版 VI 種           |
|---------|----------|--|--------|--|-----------------|-------------------|---------------------|------------------|---------------------|
| 明和 4・1  | 琴の段 臘月   | 村山源兵衛 鈍通与三兵衛述/胡・譜有                       |        | A2/述者無/<br>胡・譜有                        | 別版/述者無/<br>胡・譜有 | II種の覆刻/<br>譜有     |                     |                  |                     |
| 明和 4・1  | 春調娘七種    | 村山源兵衛 (奥)「中むら堅はんもと 高砂町村山源兵衛」<br>胡・譜有     |        | A1/奥書無/<br>胡・譜有                        | 別版/<br>胡・譜有     | すべてと別版/<br>胡・譜有   |                     |                  |                     |
| 明和 4・1  | 春雨       | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        | A1/胡・譜有                                |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・1  | 袖柳名所塚    | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・8  | 秋葉籠      | 村山源兵衛<br>楓江述/胡・譜有                        |        | A2/述者無/<br>胡・譜有                        |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・8  | 衣かつぎ思波車  | 村山源兵衛<br>楓江述/胡・譜有                        |        | A2/述者無/胡・譜有<br>同版後印/述者有/<br>版元欄削去/胡・譜有 | 本儀版の被影/<br>胡・譜有 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・11 | 早咲哉女乱拍子  | 村山源兵衛<br>鈍通与三兵衛・富士田楓江述/胡・譜有              |        | A1/述者無/<br>胡・譜有                        | 別版/述者無/<br>胡・譜有 | すべてと別版/<br>譜有     |                     |                  |                     |
| 明和 4・11 | 楓袖相生曲    | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・11 | おどり念仏    |  |        | 関係不明/胡・譜有                              |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 4・11 | 針扣色入船    | 村山源兵衛*3<br>胡・譜有                          |        | A1/述者有/胡・譜有                            |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・1  | ちごさくら    | 村山源兵衛<br>楓江述/胡・譜有                        |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・4  | 葉桜園の團    | 村山源兵衛・透写<br>胡・譜有                         |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・9  | 渡初鵜丹前    | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・9  | おとぎ紅葉早物語 | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・9  | 曇算       | 村山源兵衛<br>楓江述/胡・譜有                        |        | A1/述者有/<br>胡・譜有                        | A2/述者有/<br>胡・譜有 | 別版/述者有/<br>胡・譜有   | すべてと別版/<br>述者有/胡・譜有 | IVの被影/<br>述者無/譜有 | すべてと別版/<br>述者無/胡・譜有 |
| 明和 5・11 | 梅風嵐丹前    | 村山源兵衛<br>胡・譜有                            |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・11 | 深見草咲分丹前  | 高砂町横通り村山源兵衛<br>胡・譜有                      |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・11 | 初時雨      | 村山源兵衛<br>胡・譜有*4                          |        | A1/胡・譜有                                |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 5・11 | 相生菊相撲    | 村山源兵衛<br>作者増山金八/譜有                       |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・1  | 心駒勢草摺    | 高砂町横通り村山源兵衛<br>胡少有                       |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・2  | 一奏歌羽衣    | 高砂町横通り村山源兵衛<br>胡・譜有                      |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・2  | 道行女夫妻    | 高砂町横通り村山源兵衛<br>胡・譜有                      |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・2  | 相生獅子     | 高砂町横通り村山源兵衛*5<br>胡・譜有                    |        | A1/胡・譜有                                | 別版/胡・譜有         | IIの A1/<br>譜「上」のみ | すべてと別版/<br>胡・譜省略有   |                  |                     |
| 明和 6・5  | 追善江戸桜其傳  | 村山源兵衛<br>増山金八述/胡・譜有                      |        |  |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・5  | 弾的准系図    | 村山源兵衛<br>増山金八述/胡・譜有<br>上冊の本文に改刻のある同修本有   |        | 同修本と同版/<br>胡・譜有                        |                 |                   |                     |                  |                     |
| 明和 6・7  | 雲の峰      | 高砂町横通り村山源兵衛<br>胡・「入」有<br>(奥) 中むら堅版元村山源兵衛 |        | 別版/<br>胡・「入」有                          |                 |                   |                     |                  |                     |

| 上演年月   | 曲名        | 版元1 (元版) 述者／筆耕／胡麻・文字譜                 | 版元2 | 本屋儀兵衛版             | 無刊記版I種   | 無刊記版II種        | 無刊記版III種 |
|--------|-----------|---------------------------------------|-----|--------------------|----------|----------------|----------|
| 明和6・7  | めりやす 萩の風  | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和6・7  | めりやす 待夜   | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和6・11 | めりやす かみ心  | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    | A1／胡・譜有  |                |          |
| 明和6・11 | 楓葉恋狩衣     | 高砂町横通り村山源兵衛<br>(奥) 中村盛振元村山源兵衛         |     |                    |          |                |          |
| 明和7・1  | 釣狐春乱菊     | 高砂町横通り村山源兵衛<br>鼎嶼印                    |     | A1／胡・譜有/<br>鼎嶼印無   | 別版／胡無・譜有 | すべと別版/<br>胡・譜有 |          |
| 明和7・1  | 春宝東人形     | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和7・3  | ごろの五文字    | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和7・3  | 山桜姿鑑入     | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和7・8  | めりやす 星明   | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和7・11 | 狂乱 須磨友千鳥  | 高砂町横通り村山源兵衛                           |     |                    |          |                |          |
| 明和7・11 | 粧古郷錦花     | 高砂町横通り村山源兵衛正                          |     | A2／述者無／印無/<br>胡・譜有 |          |                |          |
| 明和7・11 | 水仙村丹前     | 高砂町横通り村山源兵衛正                          |     |                    |          |                |          |
| 明和7・11 | めりやす うき枕  | 高砂町横通り村山源兵衛板                          |     |                    |          |                |          |
| 明和8・1  | 花菱放下僧     | 高砂町横通り村山源兵衛<br>(奥) 「中村盛振元 むら山正」       |     |                    |          |                |          |
| 明和8・3  | 髪梳十寸鏡     | 高砂町村山源兵衛                              |     |                    |          |                |          |
| 明和8・3  | めりやす 仇ざくら | 高砂町村山源兵衛                              |     |                    |          |                |          |
| 明和8・7  | 妹背星紅葉丹前   | 高砂町横通り村山源兵衛<br>(奥) 「中むら座振元 村山源兵衛正」    |     |                    |          |                |          |
| 明和8・11 | 花角力里蒸     | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                         |     |                    |          |                |          |
| 明和8・11 | 冬牡丹園生獅子   | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                         |     |                    |          |                |          |
| 明和8・11 | 紅白勢丹前     | 〔 〕 中ほど村山源兵衛・(奥) 「中むら座振元 新いつみ町村山源兵衛」  |     |                    |          |                |          |
| 明和8・11 | 雪花輪糸図     | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛・透写<br>(奥) 「中村盛正銘板元むら山正」 |     |                    |          |                |          |
| 明和8・11 | めりやす 鳥の音  | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛<br>(奥) 「むら山正」           |     |                    |          |                |          |
| 明和9・1  | 曙鎌倉名所     | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                         |     |                    |          |                |          |

|        |             |                                 |               |  |  |                            |              |                     |
|--------|-------------|---------------------------------|---------------|--|--|----------------------------|--------------|---------------------|
| 明和9・1  | 梅笑庭くさずり     | しんいつみ丁村山源兵衛正<br>(奥)「中村座板元正銘 村山」 | 胡・譜有          |  |  | A1 / 胡・譜有 /<br>奥書無 / 内題角書無 |              |                     |
| 明和9・1  | 春遊凱歌脚       | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                   | 胡・譜有          |  |  |                            |              |                     |
| 明和9・1  | (狂乱初霞)      | 新いつみ町村山源兵衛                      | 天満述 / 胡・譜有    |  |  | A1 / 述者無 /<br>胡・譜有 / 奥書無   | 別版 / 胡・譜省略有  |                     |
| 明和9・1  | 雲井の里言葉      | (奥)「中村座板元正銘新いつみ町むら山」            |               |  |  | 胡・譜有 / 奥書無                 |              |                     |
| 明和9・1  | めりやす 若くさ    | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                   | 天満述 / 「上ケ」有   |  |  | A1 / 述者無 / 「上ケ」<br>有       |              |                     |
| 明和9・1  | めりやす わか派    | 新いつみ丁中ほど村山源兵衛                   | 胡・譜少有         |  |  |                            |              |                     |
| 明和9・8  | 初歌舞妓女花槍     |                                 |               |  |  | 関係不明 / 胡・譜少有               |              |                     |
| 明和9・8  | めりやす 笹引     |                                 |               |  |  | 関係不明 / 胡有                  |              |                     |
| 明和9・11 | 雪の一夜室乱梅     |                                 |               |  |  | 関係不明 / 胡・譜有                |              |                     |
| 明和9・11 | めりやす 白たえ    |                                 |               |  |  | 関係不明 / 胡・譜有                | I と別版 / 胡・譜有 |                     |
| 安永2・1  | めりやす かきつばた  |                                 |               |  |  | 関係不明 / 胡・譜有                |              |                     |
| 安永2・8  | 三馬雲井月       | 南側村山源兵衛                         |               |  |  |                            |              |                     |
|        |             | 下冊 (奥)「中村座正銘版元村山源兵衛」            |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永2・11 | 陸花池         | 高砂町南側村山源兵衛                      | 胡・譜有          |  |  |                            |              |                     |
| 安永2・11 | めりやす 錦木     | 高砂町南側村山源兵衛                      | 天満述 / 胡有「カン」有 |  |  |                            |              |                     |
| 安永3・1  | (風流万歳) 五衣の品 | 高砂町南側村山源兵衛                      | 「三絃大小入・哥」有    |  |  |                            |              |                     |
|        |             | (奥)「中村座正銘版元村山源兵衛」               |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永3・8  | めりやす 神輿     | 高砂町南側村山源兵衛正                     | 機流述           |  |  |                            |              |                     |
| 安永3・9  | めりやす 思ひ寝    | 高砂町南側村山源兵衛                      | 胡有            |  |  | A1 / 胡有                    |              |                     |
|        |             | (奥)「中村座正銘版元村山源兵衛板」              |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永3・11 | めりやす 庭の落葉   | 高砂町南側村山源兵衛                      | 胡有            |  |  |                            |              |                     |
|        |             | (奥)「中村座板元 村山」                   |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永4・2  | 御所契約狐       | 高砂町南側村山源兵衛正・透写本                 |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永4・2  | めりやす 花散鐘    | 透写本 (表紙に版元名無し)                  |               |  |  |                            |              |                     |
|        |             | (奥)「中村座正銘版元村山源兵衛」               |               |  |  |                            |              |                     |
| 安永4・2  | めりやす 葉桜     | 高砂町南側村山源兵衛                      | 喜立述           |  |  |                            |              |                     |
| 安永4・11 | 翁草恋鐘時       |                                 |               |  |  | 関係不明                       | I と別版        |                     |
| 安永5・4  | 置箱恋乱菊       | 高砂町南側村山源兵衛                      | 鼎映印           |  |  |                            |              |                     |
| 安永5・11 | めりやす ねぬよ    |                                 |               |  |  | 本文欠                        |              |                     |
| 安永6・1  | めりやす すくな文字  |                                 |               |  |  | 関係不明                       |              |                     |
| 安永6・3  | 鐘掛花振袖       |                                 |               |  |  | 関係不明 / 「手ヲ下リ」<br>有         | I と別版 / 譜無   | II と同版 /<br>2～3丁は覆刻 |

表2 〈中村座〉

| 上演年月   | 曲名             | 版元 1 述者／筆耕／胡麻点・文字譜                                       | 版元 2                                    |
|--------|----------------|--|---|
| 安永6・11 | めりやす 時雨月       | 板元 高砂町南新道村山源兵衛／<br>賣所 江戸橋四日市本屋儀兵衛                        |   |
| 安永6・11 | めりやす 雪見酒       | 板元 高砂町南新道村山源兵衛／<br>賣所 江戸橋四日市本屋儀兵衛                        | 胡・譜有                                    |
| 安永7・2  | めりやす 朧月        | 板元 高砂町村山源兵衛／<br>賣所 江戸橋四日市本屋儀兵衛 明和4年上演版の同版後<br>印・述者無／胡・譜有 | 板元 高砂町南新道村山源<br>兵衛／江戸橋四日市本屋儀<br>兵衛・同版後印 |
| 安永7・2  | 咲分梅笑顔          | 板元 〔綴じ目〕村山源兵衛／<br>賣所 江戸橋四日市本屋儀兵衛                         |   |
| 安永7・2  | めりやす 男文字       | 板元 高砂町村山源兵衛／<br>賣所 四日市本屋儀兵衛                              | 胡有                                      |
| 安永7・7  | 其紅葉懺悔物語        | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛 透写本                          | 譜有                                      |
| 安永7・11 | 信夫石恋御所染        | 高砂町南新道村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀<br>兵衛 「ヲトリ」有                  |   |
| 安永7・11 | めりやす 花夕部       | 板 高砂町南新道村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛 正                         |   |
| 安永7・11 | 琴歌 雪の夜         | 高砂町南新道村山源兵衛／はんもと／江戸ばし四日市本屋<br>儀兵衛 左交述                    |   |
| 安永8・1  | 風流女萬歳          | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛 鼎峨丸印／ヲトリ」有                   |   |
| 安永8・1  | 初夢姿富士          | 高砂町村山源兵衛／板元／江戸橋四日市本屋儀兵衛<br>(奥)「中村座板元」 「上るり・哥」有           |   |
| 安永8・5  | 花菖蒲對の手綱        | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛                              |   |
| 安永8・8  | 秋の花角力          | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛                              | 譜有                                      |
| 安永8・8  | 華筵千種の丹前        | 高砂町村山源兵衛／正本板元／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永8・9  | 二ツ紋とくに 相の<br>山 | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛 正                            | 胡・譜有                                    |
| 安永8・11 | 水面鏡梅佛          | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永8・11 | 恋の乱れ苧          | 高砂町南新道村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀<br>兵衛                         |   |
| 安永9・1  | 潔江戸絵靡          | 〔綴じ目〕村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛<br>「ヲトリ」有                    |   |
| 安永9・3  | 曳各鐘蟲貞          | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永9・7  | 三拍子秋野色々        | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛<br>「ヲトリ・チラシ」有                  |   |
| 安永9・7  | 映紅葉奴僕          | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛<br>譜有                          |   |
| 安永9・8  | 髪梳き 秋の暮        | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永9・11 | 引連樹春駒          | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永9・11 | めりやす 磯千鳥       | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 安永9・11 | めりやす 関の戸       | 高砂町村山源兵衛／はんもと／江戸橋四日市本屋儀兵衛                                |   |
| 天明1・3  | 道行花の雪吹         | 板〔裁断〕村山源兵衛<br>元 江戸橋四日市本屋儀兵衛 正                            |   |



|        |          |                                       |  |
|--------|----------|---------------------------------------|--|
| 天明1・4  | めりやす 仇枕  | 高砂町村山源兵衛／板元／四日市本屋儀兵衛                  |  |
| 天明1・9  | 色見草四の染分  | 板 たかさご町村山源兵衛<br>元 四日市本屋儀兵衛            |  |
| 天明1・11 | 紅白姿色鏡    | 高砂丁村山源兵衛／はんもと／四日市本屋儀兵衛                |  |
| 天明1・11 | 我背子恋の合榎  | 高砂丁村山源兵衛／はんもと／四日市本屋儀兵衛<br>左交述／譜有      |  |
| 天明1・11 | 丹前 花姿視   | 高砂丁村山源兵衛／はんもと／四日市本屋儀兵衛                |  |
| 天明1・11 | 屏風の関     | 板 高砂丁村山源兵衛<br>元 本屋儀兵衛<br>左交述          |  |
| 天明2・11 | めりやす 雨の柳 | 板 たかさご町村山源兵衛<br>元 江戸はし四日市本屋儀兵衛 透写本    |  |
| 天明2・1  | 花遊小鳥囀    | 高さこ町村山源兵衛／はんもと／江戸はし四日市本屋儀兵衛<br>「ヲトリ」有 |  |
| 天明2・1  | 琴哥 かり寝   | 板 たかさご町村山源兵衛 三朝述<br>元 江戸はし四日市本屋儀兵衛    |  |
| 天明2・3  | 釣狐花設段    | 高さこ町村山源兵衛／はんもと／江戸はし四日市本屋儀兵衛<br>譜有     |  |
| 天明2・7  | 今様月汐汲    | 高さこ町村山源兵衛／はんもと／江戸はし四日市本屋儀兵衛           |  |
| 天明2・7  | 道行昔のうつし絵 | 板 たかさご町村山源兵衛<br>元 江戸はし四日市本屋儀兵衛        |  |

表3 〈中村座〉

| 上演年月   | 曲名       | 版元(元版) 述者／筆耕／胡・譜                      | 本屋儀兵衛版 | 無刊記版I種 |
|--------|----------|---------------------------------------|--------|--------|
| 天明2・11 | 琴柱のかり    | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 長谷〔川〕町松本や万吉<br>「こと哥」有 |        |        |
| 天明2・11 | めりやす なみ枕 | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 長谷川町松本や万吉             |        |        |
| 天明2・11 | めりやす 雪月花 | 板 高砂町村山源兵衛<br>元 長谷川町松本や万吉             | 別版     |        |
| 天明2・11 | 花楓粧丹前    | はんもと／高砂町村山源兵衛／長谷川町松本や万吉<br>「ヲトシ」有     |        |        |
| 天明3・1  | 花緑千歳寿    | 板元／高砂丁村山源兵衛／長谷川丁松本屋万吉                 |        |        |
| 天明3・1  | 初花色の染手綱  | 板元／高砂丁村山源兵衛／長谷川丁松本屋万吉                 |        |        |
| 天明3・2  | 恋の枷糸     | 板元／高砂丁村山源兵衛／長谷川丁松本屋万吉<br>左交述          |        |        |
| 天明3・2  | 乱咲扇子蝶    | 板元／高砂丁村山源兵衛／長谷川丁松本屋万吉                 |        |        |
| 天明3・4  | 再咲花娘道成寺  | 板元／高砂丁村山源兵衛／長谷川丁松本屋万吉 譜有              |        |        |
| 天明3・8  | めりやす 秋の夜 | 板 高砂丁村山源兵衛<br>元 長谷川丁松本屋万吉             |        |        |
| 天明4・1  | 道行 見桜恋淵瀬 | はんもと／高砂町村山源兵衛／松本屋万吉 譜有                |        |        |
| 天明4・1  | 咲競梅丹前    | はんもと／高砂町村山源兵衛／松本屋万吉 透写本               |        |        |
| 天明4・3  | めりやす 色増袖 | 板 和泉丁村山源兵衛<br>元 長谷川丁松本屋万吉             |        |        |
| 天明4・3  | 馴初船の内    |                                       |        | 「哥」有   |
| 天明4・3  | 朝日の舞鶴    |                                       |        | 透写本    |

表 4 (中村座)

|         |          |   |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
|---------|----------|---|-----------|---------------|---------------------------------------|-------------------------|--|----------------------|--------------|
| 上演年月    | 曲名       | 版元(元版)  | 述者/筆排/胡・譜 | 本屋兼<br>兵衛版    | 無刊記版                                  | 沢村屋利兵衛版 I 種             | 沢村屋利兵衛版 II 種   | 沢村屋利兵衛版 III 種        | 沢村屋利兵衛版 IV 種 |
| 天明 6・11 | 狂乱嵐姫松    | 板元<br>よし町村山源兵衛<br>元<br>さかい町沢村庄五郎                      | 透写本       |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 天明 7・2  | 重荷の塩柴    | 板元<br>高さご丁村山源兵衛<br>正銘<br>元<br>さかい町澤村庄五郎               |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 天明 7・11 | 色見草古栗玉籬  | さかい丁沢村庄五郎   |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 1・4  | めりやす 雨の後 | 板元<br>沢村庄五郎   | 左交述       |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 1・7  | 八朔梅月の霜月  | 板元<br>せともの町村山源兵衛<br>元<br>さかい町沢村庄五郎                    |           | 版元欄内削<br>同版後印 | 別版/奥「寛政元酉<br>年七月吉日<br>再板<br>沢村蔵板」     | I の同版後印 / I と<br>同奥書    | * 6  |                      |              |
| 寛政 1・11 | 松鶴嫩丹前    | はんもと<br>さかい町沢村庄<br>元<br>せともの丁村山源兵衛                    |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 1・11 | めりやす 東歌  | 板元<br>さかい丁沢村庄五郎                                       |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
|         |          | (奥書)「はんもと澤村屋」   | 左交述       |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・1  | 初約束手管草摺  | はんもと<br>沢村庄五郎<br>元<br>さかい丁                            |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・1  | 大夫樗牛警万歳  | 板元<br>せともの丁村山源兵衛<br>元<br>さかい丁沢村庄五郎                    |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・3  | めりやす 雛草  | 板元<br>せともの丁村山源兵衛<br>元<br>さかい丁沢村庄五郎                    |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・7  | 放下僧月の弓取  | 板元<br>沢村庄五郎<br>元<br>村山源兵衛                             |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・11 | 釣狐菊楽咲    | 板元<br>沢村庄五郎<br>元<br>村山源兵衛                             |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 2・11 | 春駒勇笑顔    | 板元<br>さかい丁沢村庄五郎<br>元<br>せともの丁村山源兵衛                    |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 3・1  | めりやす うわ帯 | 板元<br>さかい丁沢村屋利兵衛<br>元<br>せともの丁村山源兵衛                   |           |               |                                       |                         |  |                      |              |
| 寛政 3・1  | 對面花春駒    | 板元<br>さかい丁 沢村屋利兵衛<br>元<br>せともの丁村山源兵衛                  |           |               | 同版/<br>版元名欄のうちの<br>「せともの丁村山源兵<br>衛」削去 | 別版/奥「寛政三亥<br>正月吉日 沢村蔵板」 | すべてと別版/奥「原<br>板寛政三亥年正月吉日<br>/再板文政九戌年九月<br>吉日澤村蔵板」* 7 | 原板沢村屋利兵衛/<br>求板丸屋鉄次郎 |              |
| 寛政 3・5  | 五月菊名大津絵  | 板元<br>[空欄]<br>さかい丁沢村利兵衛<br>(奥書)「寛政三亥年五月吉日沢村蔵<br>板」* 8 |           |               | 版元欄に「さかい丁<br>沢村屋利兵衛」中央<br>書/同版        |                         |  |                      |              |

表5 (都座)

| 上演年月   | 曲名          | 版元 (元版)                              | 述者／筆耕／胡・譜      | 沢村屋利兵衛版I種               | 沢村屋版II種          | 沢村屋版III種          |
|--------|-------------|--------------------------------------|----------------|-------------------------|------------------|-------------------|
| 寛政6・2  | (めりやす) 月の鏡  | さかい町中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛/はんもと          | 作者松井由輔述 (表紙)   |                         |                  |                   |
| 寛政6・5  | (めりやす) やどり車 | さかい町中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛/はんもと          | 狂言作者松井由輔述 (表紙) |                         |                  |                   |
| 寛政6・7  | (季唄) 雲井の鷹   | さかい町中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛/はんもと          |                |                         |                  |                   |
| 寛政6・7  | (めりやす) 下紐   | さかい町中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛/はんもと          |                |                         |                  |                   |
| 寛政6・7  | (床さかづき) 相の山 | さかい町中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛/はんもと          |                |                         |                  |                   |
| 寛政6・11 | (めりやす) 糸車   | 板元 きり屋/沢村屋/中嶋屋<br>/沢村屋利兵衛            | 五瓶述「三下り、合」     | 別版/大字/<br>述者有「三下り、合」    | 別版/大字/<br>述者有/譜無 | II種の覆刻/<br>述者無/譜無 |
| 寛政7・1  | (新うた) 五大力   | 板元 桐屋傳左衛門/中嶋屋伊左衛門<br>/沢村屋利兵衛         | 並木五瓶述/譜無       |                         |                  |                   |
| 寛政7・2  | 三瀬川吾妻人形     | 板元 桐屋傳左衛門/沢村屋利兵衛<br>/中嶋屋伊左衛門         |                |                         |                  |                   |
| 寛政7・11 | 色手綱誓の駒引     | 板元 とみさわ町中嶋屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋伊左衛門   |                |                         |                  |                   |
| 寛政7・11 | 折篠竹梅幸       | 板元 とみさわ町中嶋屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋伊左衛門   | 「合」            |                         |                  |                   |
| 寛政7・11 | (めりやす) 心の薬  | 板元 とみさわ町中嶋屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋伊左衛門   | 「ツツミ哥、合」       |                         |                  |                   |
| 寛政8・1  | (めりやす) 心の木枕 | (表紙欠)                                |                |                         |                  |                   |
| 寛政9・3  | (めりやす) 爪紅粉  | 板元 桐屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋傳左衛門         | えんふ述「二上り、合」    |                         |                  | 神田平永町森田屋金藏「三下り、合」 |
| 寛政9・8  | 姿花籠七種       | 板元 桐屋傳左衛門 柀屋正次郎増補<br>/賣所 さかい町中嶋屋傳左衛門 | 「二上り、三下り、ツ、ミ」  | 沢村屋利兵衛 さかい丁<br>手習子 抜摺り本 |                  |                   |
| 寛政9・9  | (めりやす) あだし髪 | 板元 桐屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋傳左衛門         | 柀屋和吉述「二上り、合」   |                         |                  |                   |
| 寛政9・9  | 忍夫摺形見狩衣     | 板元 桐屋傳左衛門<br>/賣所 さかい町中嶋屋傳左衛門         | 「ウタイ、三下り、合」    |                         |                  |                   |

表6 注③  
〈中村座〉

|                 |                                |   |  |  |          |         |
|-----------------|--------------------------------|---|--|--|----------|---------|
| 上演年月            | 曲名                             | 版元(元版) 述者/胡・譜                                 | 沢村屋版I種   | 沢村屋版II種                                    | 沢村屋版III種 | 沢村屋版IV種 |
| 寛政9・11          | (仙臺ぶじ)<br>吾妻俱<br>(めりやす)<br>心の雪 | 板元/さかい町沢村利兵衛/せともの丁村山源兵衛<br>板元/沢村利兵衛/村山源兵衛 左交述 | 表紙「再板」/別版<br>/大字/「二上り、合」                             |  |          |         |
| 寛政9・11          | (めりやす)<br>墨の梅                  | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい丁                              |  |  |          |         |
| 寛政10・3          | (因治留瑞)<br>邯鄲四季の花<br>道          | 板元/さかい丁沢村屋利兵衛/村山源兵衛<br>亀玉述                    | 同版/述者有/<br>表紙「村山源兵衛」削去                               | I種の覆刻/「再板」/述者有                             |          |         |
| 寛政10・11         | 花車紅葉鮒                          | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい丁                              |  |  |          |         |
| 寛政11・2          | (めりやす)<br>花の関の戸                | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい丁                              |  |  |          |         |
| 寛政11・11         | (めりやす)<br>室のあがほ                |   | 板 沢村屋利兵衛「三下り」<br>元 森田屋金蔵 大名題無                        |  |          |         |
| 寛政11・11         | 牛飼笠飾花                          | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい町<br>村屋正次郎作                    | 板 さかい丁沢村屋利兵衛<br>元 平永町 森田屋金蔵<br>別版 内題下作者名無            | 板 よし町角山本平吉<br>元 芝神明前和泉や市兵衛<br>Iと同版/版元名部分入木 |          |         |
| 寛政12・1          | 帯拽花農小林                         | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい町                              | 同版後印、表紙別版  | 板元/さかい丁沢村利兵衛<br>/平永町森田屋金蔵別版                |          |         |
| 寛政12・3          | (めりやす)<br>心の筆                  | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい町                              |  |  |          |         |
| 寛政12・5          | 江戸花五枚錦<br>絵                    | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛                                | 板元/さかい丁沢村利兵衛/<br>平永町森田屋金蔵「花娘」抜<br>刷本                 |  |          |         |
| 寛政12・11         | (めりやす)<br>蕙紅葉<br>花枝巻立梅         | はん元/沢村屋利兵衛/さかい町<br>五瓶述                        |  |  |          |         |
| 享和1・11<br>享和3・5 | 三重霞嬉敷額<br>鳥                    | はん元/沢村屋利兵衛/さかい町                               | 板元/さかい町沢村屋利兵衛<br>表紙「再板」/左交述<br>(奥)「享和三亥正月吉日<br>沢村藏板」 | 覆刻<br>(奥)「享和三亥五月吉日<br>沢村藏板」                |          |         |



|        |                 |  |  |                       |   |  |  |
|--------|-----------------|--|--|-----------------------|---|--|--|
| 享和3・2  | ぬれ題             |  |  |                       | 神田平永町森田屋金藏 写本                                     |  |  |
| 享和3・4  | (享明) 秋空         | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛/蔵板                                |  |                       |   |  |  |
| 享和3・8  | 新八重帷            | 正銘/はん元/沢村屋利兵衛蔵板/さかい町                             |  |                       |   |  |  |
| 文化1・2  | うてな             | さかい丁/沢村屋利兵衛/はんもと                                 |  |                       |   |  |  |
| 文化2・3  | 法花四季臺           | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい丁<br>(下冊奥)「文化二乙丑年三月三日蔵版」<br>上下二冊本 | 本文覆刻 (含刊記)<br>表紙別版<br>上下二冊本                        | 表紙別版<br>本文Iの後印<br>一冊本 | 表紙別版「再版」<br>本文Iの覆刻<br>◎                           | 原版沢村利兵衛<br>求版丸屋銚次郎<br>本文別版「慶應三年<br>丁卯九月再版」 |  |
| 文化2・4  | (めりやす)<br>妻戸の風  | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい町<br>(奥)「文化二丑四月十日蔵版」◎             |  |                       |   |  |  |
| 文化3・2  | 七字の花在姿<br>繪     | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛/北がわ<br>(下冊奥)「文化三寅二月吉日 沢村蔵版」       | 本文覆刻 (含刊記)<br>表紙別版                                 | Iの覆刻 (含刊記)            | 別版◎<br>(奥)「原版 文化三寅二月<br>吉日 再版 文政四巳年五<br>月吉日 沢村蔵版」 | 板元丸屋銚次郎<br>別版                              |  |
| 文化3・4  | (めりやす)<br>袖の海   | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛/北がわ<br>(奥)「文化三寅の四月十四日 沢村蔵版」       |  |                       |   |  |  |
| 文化4・5  | (子日)<br>男舞曲相生   | さかい町/沢村屋利兵衛板「ウタイ、三下り」<br>(奥)「文化四丁卯年五月吉日 沢村蔵版」    | 別版<br>(奥)「原版文化四丁卯年五月<br>吉日/再版文政十三庚寅年三<br>月良辰 澤村蔵版」 |                       |   |  |  |
| 文化4・5  | (重陽)<br>色耐雛花唄   | さかい町/沢村屋利兵衛板<br>(奥)「文化四丁卯年五月吉日 沢村蔵版」             |  |                       |   |  |  |
| 文化5・1  | 寶君壽万歳           | さかい丁/澤村屋利兵衛/はん元 「二上り」<br>(奥)「文化五辰正月二日 堺町沢村蔵版」    |  |                       |   |  |  |
| 文化5・2  | 梅庭意貞貞           | 板元/さかい丁/沢村屋利兵衛<br>(奥)「文化五辰年二月吉日 澤村蔵版」            |  |                       |   |  |  |
| 文化5・4  | 道行鳥邊山           | 板元/さかい丁/沢村屋利兵衛/北がわ<br>(奥)「文化五辰年七月十七日 澤村蔵版」       |  |                       |   |  |  |
| 文化5・7  | (めりやす)<br>月雪花操重 | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛/北がわ<br>(奥)「文化五辰年八月十日 沢村蔵版」        |  |                       |   |  |  |
| 文化5・8  | 濱松風戀歌           | 板元/さかい町/沢村屋利兵衛/北がわ<br>(奥)「文化五辰年八月十日 沢村蔵版」        | 別版◎ 刊記「文政九戊年九<br>月吉日再刻 澤村蔵版」                       | Iの覆刻                  | 別版 原版沢村利兵衛/求<br>板丸屋銚次郎                            |  |  |
| 文化5・11 | 天津失声恋神<br>業     | はんもと/沢村屋利兵衛/さかい町<br>(奥)「文化五戊辰年霜月朔日 沢村蔵版」         |  |                       |   |  |  |
| 文化6・4  | 邯鄲園菊樂           | 沢村屋利兵衛/さかい町<br>(奥)「文化六巳年四月吉日 沢村蔵版」               | 別版 通二丁目/丸屋銚次郎<br>/はんもと                             |                       |   |  |  |
| 文化6・9  | (めりやす)<br>ゆかりの月 | 板元/さかい丁/沢村屋利兵衛                                   | 本文後印 表紙別版  | 覆刻 通二丁目丸屋銚次郎          |   |  |  |

|        |                 |   |  |                                   |  |                                      |  |
|--------|-----------------|---|--|-----------------------------------|--|--------------------------------------|--|
| 文化7・3  | 八重やまぶき          | はんもと／沢村屋利兵衛／さかい町<br>(奥) 「文化七七年三月吉日 沢村藏板」  |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化7・5  | (めりやす)<br>本の下やみ | はんもと／沢村屋利兵衛／さかい丁<br>(奥) 「文化七七年五月吉日 沢村藏板」  |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化7・7  | 伊勢音頭恋目<br>の双六   | 板元／さかい丁／沢村屋利兵衛<br>(奥) 「文化七七年七月十五日 澤村藏板」   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化7・8  | 小原女<br>俣の禿      | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥) 「文化七七年八月十七日澤村藏板」 上册<br>正銘／板元／さかい丁／沢村屋利兵衛／北がわ<br>(奥) 「文化七七年八月十七日 澤村藏板」 下册 | 別版<br>上一册                                    | 別版 表紙Iの覆刻「文久二戊七月再板 澤村藏板」<br>上下一册本 | IIの覆刻 原板沢村屋利兵衛<br>求板丸屋鉄次郎<br>上下一册本             |                                      |  |
| 文化7・11 | 追払梅明春           | 正銘／堺町／澤村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化七庚午十一月朔日 沢村屋藏板」   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化7・11 | (琴明)<br>花色香     | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥) 「文化七庚午霜朔日 沢村藏板」  |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化8・3  | 運桜手尔葉七<br>字     | 正銘／さかい丁／澤村屋利兵衛／はんもと<br>(奥) 「文化八未年三月吉日 澤村藏板」<br>上下一册   | 別版 一册本<br>(奥) 「原板文化八未年三月吉日／再板文政四年巳四月吉日 澤村藏板」 | 字表紙本<br>本文Iの覆刻                    | 沢村屋利兵衛／大黒屋金之介相版 別版 (上下) 二册<br>「大黒屋金之助」を削去した版あり | 沢村屋利兵衛／丸屋鉄次郎相版 IIIの覆刻<br>ほかに丸屋鉄次郎版あり |  |
| 文化9・9  | (めりやす)<br>青葉    | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／板元   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化8・11 | 岩井月緑の松<br>本     | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥) 「文化八未年霜月朔日 澤村藏板」   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化8・11 | (めりやす)<br>遺枕    | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥) 「文化八未年霜月朔日 澤村藏板」   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化9・1  | 千代の春緑末<br>広     | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化九甲申正月吉日 澤村藏板」   |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化9・7  | 万歳君堺町           | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化九年申七月十五日 澤村藏板」  |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化9・9  | 再春菴種時           | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化九甲申九月九日 沢村藏板」 *9  | 本文覆刻 字表紙                                     | 本文別版 字表紙                          | 版元部分墨丁 IIの覆刻<br>「丸鉄板」と入る同版有                    | 通三丁目丸屋鉄次郎版<br>「明治十七年再版」              |  |
| 文化9・9  | 紅葉袖名錦絵          | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化九甲申九月九日 沢村藏板」<br>同版の字表紙本あり  |  |                                   |  |                                      |  |
| 文化10・2 | (めりやす)<br>命毛    | 正銘／堺町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥) 「文化十四年二月十二日 沢村藏板」  |  |                                   |  |                                      |  |

|         |                |  |                                       |  |         |                             |
|---------|----------------|--|---------------------------------------|--|---------|-----------------------------|
| 文化10・3  | 四季泳寄三大<br>字    | 正銘／栗町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥)「文化十四年三月七日 沢村藏板」<br>上下二冊 | 別版(A3) 上下一冊<br>(奥)「文化十四年三月吉日<br>沢村藏板」 | 本文Iの覆刻<br>(奥)「文化十四年三月吉日<br>發板／文政十三寅歳四月吉<br>日 再板 澤村藏板」◎ | 本紋別版 大字 | 沢村屋利兵衛／丸屋鉄<br>次郎相版<br>本文同版Ⅲ |
| 文化10・9  | 御名残尾花留<br>袖    | 正銘／栗町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥)「文化十癸酉年秋九月 沢村藏板」         |                                       |  |         |                             |
| 文化11・3  | 寄三津再十二<br>支    | 正銘／栗町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥)「文化十一」戊辰三月 澤村藏板」         |                                       |  |         |                             |
| 文化12・1  | 梅籬霞帯曳          | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥)「文化十二亥年一月吉日 沢村藏板」    |                                       |  |         |                             |
| 文化12・3  | 其九繪彩四季<br>桜    | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥)「文化十二戌年三月吉日 沢村藏板」    |                                       |  |         |                             |
| 文化12・11 | 今様織花道          | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥)「文化十二亥年霜月朔日 沢村藏板」    |                                       |  |         |                             |
| 文化13・5  | (琴明) 朝顔        | 正銘／さかい丁／沢村屋利兵衛／はんもと<br>(奥)「文化十三年五月吉日 沢村藏板」     |                                       |  |         |                             |
| 文化13・9  | 御名残七小町<br>登彩四季 | 正銘／栗町／沢村屋利兵衛／板元<br>(奥)「文化十三年九月吉日 沢村藏板」         |                                       |  |         |                             |
| 文化15・1  | 道中丸色廓          | 正銘／栗町／沢村屋利兵衛／板元 終丁次                            |                                       |  |         |                             |

注：本表は版元1を元版とし、本屋義兵衛版・無刊記版との本文の関係を表したものである。各曲の本屋義兵衛版と無刊記版I～VIの欄に「A1 (A2・A3・別版)」と記載している。本屋義兵衛版と無刊記版間の本文の関係について記す場合は、「本義版と同版」や「I種 (無刊記I種) と同版」のように、関係する版種を表した。

この表は、中村座の離子方による正本をもとに作成した。述者は本文の内題下署名からとり、表紙の記載からはとっていない。

詞章の右側に胡麻点がある場合は、全体的・部分的を問わず「胡有」と表に載せている。文字譜 (節付け名) については、文字譜とみなしにくい「オトリ」・「哥」・「ツツミ哥」なども一応「譜有」として表中に記載しているが、本文の冒頭の「二上り」「三下り」と中間の「合」のみの場合は文字譜無しと見なして表には載せなかった。

相版元の関係を特に示す必要がある場合は、原本の表記を写すように心掛けた。

- \* 1 【高野道行哥祭文】「一奏勢熊坂」は「菜花曙曾我 第三番目」・「中村座」と表紙にあるが、版元が異なる。
- \* 2 上下二冊である。他に、下冊の表紙を除いて上一冊にした覆刻版があり (竹 71163・明 1023)、その表紙に「上下」と入る版 (黒木) がある。
- \* 3 下冊の表紙を除き、上下冊の本文を合わせて一冊にした同版本あり。上冊の表紙から「上」を削去して表紙にした道本。
- \* 4 版元2として「瓢箪形内に文」の商標の版有、本文は「別版 胡・譜有」。
- \* 5 享保19年1月上演時のいかにや版の本文を参考にして版下を作っている (いかにや版のA3) とみられる。
- \* 6 このほかに、沢村屋利兵衛版の異版が3種と、沢村屋利兵衛と森田屋金蔵相版の版が4種存在するが、刊年・蔵版に関する奥書はない。
- \* 7 このほかに、沢村屋利兵衛版で奥書の無い異版がある。
- \* 8 ◎は版種が複数あることを示す。その際には本文を基準とした。
- \* 9 天保4・9再演時の正本 (沢村屋版) あり。

後版 (未定稿)

|            |          |  |                 |                |                    |                |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
|------------|----------|--|-----------------|----------------|--------------------|----------------|--|------------------------|----------------------|------------|----------------|--------------------|-----------------------------|
| 上演年        | 曲名       | 富士屋小十郎<br>ふきや町<br>かし通り／南側              | 伊賀屋勘右衛門<br>住所変動 | 和泉屋市兵衛<br>芝神明前 | 山本平吉<br>よし町<br>川岸角 | 森田屋金藏<br>神田平永町 | 沢村屋利兵衛<br>さかい町   | 丸屋鉄次郎                  | 薦屋重三郎<br>小伝馬町<br>三丁目 | 大黒屋<br>金之介 | 清水治平衛<br>本芝三丁目 | 濱松屋幸助<br>通油町<br>北側 | 多田屋利兵衛<br>堀江町四丁目<br>日本橋通三丁目 |
| 寛延<br>2・3  | 一奏現在道成寺  | ○元浜町伊賀屋勘右<br>衛門原板／ふきや<br>町富士屋小十郎再<br>板 |                 |                |                    |                |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
| 宝暦<br>3・2  | 京鹿子娘道成寺  | ◎                                      | ◎               | ○山本相版          | ○森田屋<br>と相版        | ◎              | ◎「再板 沢村<br>屋兵衛正」<br>「文久十三年<br>改板澤村藏<br>板」<br>「天保十一年<br>澤村藏板」 | ◎沢村相版<br>「文久四年<br>再々刻」 |                      |            |                |                    | ○                           |
| 宝暦<br>4・2  | 英執着獅子    | ◎                                      | ◎               | ○森田屋<br>と相版    | ◎大黒屋金之介<br>相版      | ○沢村相版          |  | ○沢村<br>相版              |                      |            |                |                    | ○                           |
| 宝暦<br>6・11 | 早咲枕丹前    | ◎南側一種大名題有                              | ○               | ○森田屋<br>と相版    | ○岩戸屋久兵衛<br>相版      |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |
| 宝暦<br>12・3 | 道行旅初桜    |  |                 |                | ○岩戸屋相版             |                |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
| 宝暦<br>14・2 | 爪音幸紋尽    |  |                 |                | ○「再板」<br>大名題無      |                |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
| 宝暦<br>14・4 | ねこのつま    |  |                 |                | ○                  |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |
| 明和<br>2・11 | 姿の鏡関寺小町  | ○                                      | ○               | ◎              | ◎                  |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |
| 明和<br>4・1  | 琴の段 朧月   | ○字稽古本                                  | ○富士屋相版          |                | ◎岩戸屋相版             |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○字表紙稽古<br>本                 |
| 明和<br>4・1  | 春調娘七種    | ◎                                      | ◎               | ○森田屋<br>と相版    | ○「甲午八月再<br>板」      |                |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
| 明和<br>4・1  | 秋果籠      | ○                                      | ○               | ○山本相版          | ◎「文久三年八<br>月改板」    | ○原板沢村<br>求板丸屋  |  |                        |                      |            |                |                    |                             |
| 明和<br>4・8  | 衣かへつき思破車 | ○                                      | ○               |                | ◎「再板」              |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |
| 明和<br>4・8  | 相生獅子     | ◎                                      | ◎富士屋相版          |                | ○森田屋<br>と相版        |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |
| 明和<br>6・2  | 相生獅子     | ◎                                      | ◎単独             |                | ◎「再板」              |                |  |                        |                      |            |                |                    | ○                           |



|            |                    |  |   |  |                                  |  |                                       |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
|------------|--------------------|--|---|--|----------------------------------|--|---------------------------------------|--|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------------------|
| 天明<br>7・1  | 釣狐春乱菊              | <input type="radio"/> 字表紙本                 |   |  | <input type="radio"/>            |  | <input checked="" type="radio"/> 「再板」 |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 明和<br>9・1  | 雲井の里言葉             |  |   |  | <input type="radio"/>            |  |                                       |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 明和<br>9・11 | めりやす白たえ            | <input type="radio"/>                      |   |  | <input type="radio"/>            |  | <input type="radio"/>                 |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | <input type="radio"/> |
| 安永<br>4・11 | 翁草纏種蒔<br>(種蒔三番叟)   | <input checked="" type="radio"/> かし通り／大名題無 | <input type="radio"/> 富士屋相版<br><input type="radio"/> 単独   |  |                                  |  | <input checked="" type="radio"/> 大名題無 | <input checked="" type="radio"/> 浪村単独 大<br>名題無「再板」<br><input type="radio"/> 岩戸屋久兵衛<br>相板 | <input type="radio"/> 原板浪村<br>求板丸屋 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>1・11 | 我背子恋の合櫃<br>(蜘蛛拍子舞) | <input type="radio"/>                      | <input checked="" type="radio"/> 富士屋相版<br><input checked="" type="radio"/> 福地茂兵衛／<br>山本重五郎／<br>富士屋と相版 |  |                                  |  | <input type="radio"/> 字表紙稽古本          | <input type="radio"/> 福地茂兵<br>衛／山本<br>重五郎／<br>伊賀屋と<br>相版                                 |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>2・3  | 釣狐花段異              | <input type="radio"/>                      |   |  | <input type="radio"/> 森田屋<br>と相版 |  |                                       |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>3・8  | めりやす秋の夜            |  |   |  |                                  |  | <input type="radio"/> 大名題無            |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>4・3  | 剛初駈の内              | <input type="radio"/>                      |   |  | <input type="radio"/>            |  |                                       |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>4・11 | めりやす黒髪             | <input checked="" type="radio"/>           | <input type="radio"/>   |  |                                  |  | <input checked="" type="radio"/>      | <input type="radio"/> 「再板」<br><input type="radio"/> 村屋利兵衛板<br>正」                         | <input type="radio"/>              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |
| 天明<br>5・3  | 八挺鉦                | <input type="radio"/>                      |   |  |                                  |  |                                       |  |                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                       |

7-1745・2568・2569・演特イ 11-1212-116A、他有り  
 めりやす青葉 元：黒  
 岩井月緑の松本 元：演特イ 11-1212-37E と 116G  
 めりやす浪枕 元：特イ 11-1212-37F (表紙破)  
 千代の春緑末廣 元：演特イ 11-1212-37I  
 万歳君塚町 元：明  
 再春菘種蒔 元：演特イ 11-1212-38C と 117AB・竹  
 7-1387・1389・3149・3150、沢村 I：(字表紙) 明・  
 竹 7-1393・1394・3151、沢村 II：(字表紙) 芸 N27・  
 演特イ 11-1212-117C・演特イ 13-312-97・竹 7-1390-  
 1392・1838・3152・3153、沢村 III：(版元部分墨丁)  
 竹 7-3156・演特イ 13-312-98、丸鉄：竹 7-1396  
 紅葉袖名残錦絵 元：芸 N1 と 4・演特イ 11-1212-  
 38D と 117DE・明・竹 7-1517-1520・3205-3207、元’：  
 (字表紙) 明・竹 7-1521・1522・3208 (他に天保四  
 年再演版有り)  
 めりやす命毛 元：演特イ 11-1212-38G・明  
 四季眺寄三大字 元 (上下 2 冊)：竹 07-604-  
 607・2779・2780・演特イ 11-1212-38H・117G・118A、  
 沢村 I (上下 1 冊)：演特イ 11-1212-118BC・  
 竹 7-608-611・2781・2782、沢村 II：明 2091・  
 竹 7-2783、沢村 II’：明 2092・演特イ 11-1212-  
 118D・竹 7-613・2784・22785、沢村 II’：(本  
 文 II 同版表紙別版) 演特イ 13-312-102・竹  
 7-614・615・2786・2787、沢村 III：竹 7-2789、沢村  
 III’：演特イ 11-1212-119A・竹 7-2788・芸 N25・  
 明 2100、沢村 IV：芸 N25・竹 7-616・演特イ 13-  
 312-101  
 御名残尾花留袖 元：竹 7-2580  
 寄三津再十二支 元：明・竹 7-1638-1640・3260・演  
 特イ 11-1212-40A  
 梅籬霞帯曳 元：明・演特イ 11-1212-40D・芸 N11  
 其九繪彩四季櫻 元：竹 785-790・演特イ 11-1212-  
 40E と 119EF、元’：(上冊表紙覆刻) 明・演和ト  
 13-44 と 45 カ  
 今嫩花道 元：演特イ 11-1212-41E・明  
 琴唄朝顔 元：演特イ 11-1212-41G  
 御名残七小町容彩四季 元竹 7-977  
 道中丸色廓 元：特イ 11-1212-42A (欠本)

## [略語]

(元 1)：元版 1  
 (元 2)：元版 2  
 (儀)：本屋儀兵衛版  
 (I～VI)：無刊記版 I～VI 種  
 (沢村 I～IV)：沢村利兵衛再版 I～IV 種  
 (丸鉄)：丸屋鉄次郎版

上：上野学園日本音楽史研究所  
 演：早稲田大学演劇博物館  
 辻：早稲田大学演劇博物館辻町文庫  
 加：都立中央図書館加賀文庫  
 霞：東京大学霞亭文庫  
 抱：抱谷文庫  
 黒：東京大学教養学部黒木文庫  
 芸：東京芸術大学附属図書館  
 東国：東京大学国語国文研究室  
 竹：国立音大附属図書館寄託竹内文庫  
 バ：バリ国立図書館  
 博：東京国立博物館  
 花：上田花月文庫  
 松：松浦史料博物館  
 明：明治大学附属図書館松和文庫

## 書籍に図版掲載

原：『長唄原本集成』  
 図：『歌舞伎図説』  
 近：『日本近世日本舞踊史』石井国之著  
 川：『江戸長唄』川上邦基著

(『東海大学国際文化学部紀要』創刊号 (2008 年) に掲  
 載した『所蔵一覧』に加筆して作成した)

- 三瀬川吾妻人形 元：演特イ 11-1212-27F  
 色手綱誓の駒引 元：演特イ 11-1212-27G  
 折旅竹梅幸 元：明  
 めりやす心の蝶 元：竹 7-507・2433  
 めりやす心の木枕 元：芸 N3、後版：竹 7-2726（森田屋版）  
 めりやす瓜紅粉 元：竹 7-2437  
 姿花秋七種 元：明・演和ト 13-285、沢村 I：竹 7-2848・2849・芸 N22・演特イ 11-1212-28A と 109H（抜き本）  
 めりやすあだし髪 元：竹 7-2438  
 忍夫摺形見狩衣 元：明  
 仙台ふし吾妻唄 元：竹 7-50、沢村 I：竹 7-51・演特イ 11-1212-28C・演和ト 13-194・演和ト 13-444-3E・明  
 めりやす心の雪 元：竹 7-2439  
 めりやす墨の梅 元：竹 7-2441・演特イ 11-1212-28E（唄浄瑠璃）邯鄲四季の花道 元：明、沢村 I：芸 N3、沢村 II：竹 7-331  
 花車紅葉錦 元：近（表紙のみ掲載）  
 めりやす花の関の戸 元：竹 7-2442  
 めりやす室のゑがお 沢村 I（森田屋相版）：演特イ 11-1212-29F  
 牛飼室梅花 元：演特イ 11-1212-110B、沢村 I（森田屋相版）：竹 7-92・演特イ 11-1212-29E、後版：竹 7-93  
 帯曳花農小林 元：演特イ 11-1212-29K・明・竹 7-249・250・2063・2573、沢村 I：竹 7-248・2574、沢村 II（森田屋相版）：演特イ 11-1212-110DE  
 めりやす心の筆 元：演特イ 11-1212-30B と 110F  
 江戸花五枚錦絵 元：演特ト 13-429-18・明、沢村 I（森田屋相版）：演特イ 11-1212-30F（抜き本）  
 めりやす蔦紅葉 元：演特イ 11-1212-30I  
 花袂甚立梅 元：演特イ 11-1212-31H  
 三重霞嬉敷顔鳥 沢村 I：明・竹 7-1422・1423・3175・演特イ 11-1212-110J・演特ト 13-443-96・演特ト 13-429-20、沢村 II：竹 7-1424・3174・演特イ 11-1212-32F、沢村 II'（字表紙）：竹 7-3176  
 むね翹 後版：演特イ 11-1212-142（森田屋版透写本）  
 琴唄秋空 元：演特イ 11-1212-32H  
 新八重梅 元：演特イ 11-1212-32I  
 めりやすうてな 元：演特イ 11-1212-33C  
 法花四季台 元：竹 17-1043・1044、沢村 I：竹 7-1045・1048・2998・2999・芸 N3・明、沢村 II：竹 7-3000・3001、沢村 II'（字表紙）：竹 7-3002、沢村 III：明・竹 7-1049、沢村 III'：竹 7-1050（表紙覆刻）、沢村 IV（丸鉄求版）：竹 7-1051  
 めりやす妻戸の風 元：明  
 若緑姿相生 元：明  
 七字の花在姿繪 元：明 2056・竹 7-622・624・626・1774・1776・演特イ 11-1212-34A と 111G、沢村 I：明 2055・演特イ 11-1212-112A、沢村 II：演特イ 11-1212-112AB・竹 7-620、沢村 III：竹 7-628・629・1779・演特イ 11-1212-112CD、沢村 III'：竹 7-631・1778（字表紙）、沢村 IV：竹 7-632  
 めりやす袖の海 元：明・竹 7-758  
 （子日）男舞曲相生 元：演特イ 11-1212-34C・演和ト 13-178・明、沢村 I：竹 7-246  
 （重陽）色礎籬花姫 元：演特イ 11-1212-34DE と 113E  
 寶君寿万歳 元：演特イ 11-1212-34G・明  
 梅庭意眞眞 元：黒・演特イ 11-1212-34I（透写本）  
 道行鳥邊山 元：竹 7-3180・3181・演特イ 11-1212-35A・演和ト 13-286カ  
 めりやす月雪花操車 元：竹 7-3469  
 濱松風恋歌 元：明・芸 N22・竹 7-1185・1186・3072・3073・演特イ 11-1212-113I、沢村 I：演特イ 11-1212-113J114A・竹 7-1187・1188・3074、沢村 II：竹 7-1190・3076、沢村 II'：芸 N17（表紙覆刻）、沢村 III：竹 7-1191、沢村 IV：竹 7-1192・1193・3077  
 天津矢声恋神業 元：明  
 邯鄲菌菊蝶 元：演特イ 11-1212-36A・演和ト 13-419-21・竹 7-332・334・3339、丸鉄：竹 7-335  
 めりやすゆかりの月 元：竹 7-1630・2446・明 2069・芸 N1、沢村 I：明 2070・演特イ 11-1212-36C、丸鉄：竹 7-3258  
 めりやす八重やまぶき 元：黒・竹 7-1562  
 めりやす木の下やみ 元：黒  
 （伊勢音頭）恋目双六 元：演和ト 13-296  
 小原女（上冊）廓の禿（下冊） 元（上下 2冊）：演特イ 11-1212-36G・114K・115CD（下冊）・竹 7-288-296・明、元'（下冊字表紙）芸 N19・演特イ 11-1212-115E・竹 7-301・1763・1764・2138・2595（下冊字表紙）・2597、沢村 I：芸 N17 と 19・明・演特イ 11-1212-115A・特イ 13-312-89・竹 7-297-299・2595・2596、沢村 I'：竹 7-3332（上冊字表紙）、沢村 II：竹 7-3333、沢村 III：芸 N27・演特イ 11-1212-115B  
 追払梅明春 元：演特イ 11-1212-36H  
 琴唄花色香 元：竹 7-1156・1825（表紙欠）  
 遅桜手尔葉七字 元：（上冊）竹 7-231・229・1746・2562・明、（下冊）竹 7-230・2563・明、沢村 I：（上下 1冊）芸 N4・竹 7-233・234・1747・1748・2099・2564・2565・明 2110・演特イ 11-1212-37A と 115G、沢村 I'：芸 N17 と 25・明 2109（改刻箇所）、沢村 II：（字表紙本文 I の覆刻）竹 7-235・2566・2577 沢村 III：（大黒屋相版）竹 7-236・238・3323、沢村 IV：（上 1冊丸鉄相版）竹

めりやす花散鐘 元1：演特ト 13-448-90 (透写)  
めりやす葉桜 元1：演特イ 11-1212-19F  
翁草恋種蒔 I：演和ト 13-444-2F・演特ト 13-443-84、II：竹 7-169と 170  
置霜恋乱菊 元1：花  
壽萬歳 I：演特イ 11-1212-20L  
めりやすねぬよ I：演特ト 13-413 (本文欠)  
めりやすすくな文字 I：竹 7-2413  
鐘掛花振袖 I：芸 N9、II：竹 7-2607、III：竹 7-314  
めりやす時雨月 元1：演特ト 13-413・竹 7-2414  
めりやす雪見酒 元1：竹 7-2415  
めりやす臘月 元1：松・黒、元2：芸 N9・演特ト 13-443-87  
咲分梅笑顔 元1：松  
めりやす男文字 元1：芸 N24/1  
其紅葉懺悔物語 元1：芸 E  
信夫石恋御所染 元1：明・松  
めりやす花夕部 元1：明・松  
琴歌雪の夜 元1：松 835-S11-10・12  
風流女萬歳 元1：竹 7-2417  
初夢姿富士 元1：松  
花菖蒲對の手綱 元1：竹 7-2418  
秋の花角力 元1：松  
華筵千種の丹前 元1：竹 7-2419  
二ツ紋ときに相の山 元1：7-2420  
水面鏡梅佛 元1：竹 7-2421  
恋の乱れ苧 元1：松・竹 7-2422・演和ト 13-413B (表紙のみ存)  
潔江戸絵 元1：松  
曳各鐘蟲履 元1：霞  
三拍子秋野色々 元1：竹 7-2424  
映紅葉奴僕 元1：竹 7-2423  
髮梳き秋の暮 元1：竹 7-2425・7-29  
引連樹春駒 元I：芸 E (透写)  
めりやす磯千鳥 元1：竹 7-2426  
めりやす関の戸 元1：竹 7-2427  
道行花の雪吹 元1：明  
めりやす仇枕 元1：竹 7-48  
色見草四の染分 元1：明  
紅白姿色鏡 元1：松  
我背子恋の合槌 元1：松  
丹前花姿視 元1：明・演特イ 11-1212-22B  
屏風の関 元1：松  
めりやす雨の柳 元1：演特イ 11-1212-22E  
花遊小鳥囀 元1：明  
琴哥かり寝 元1：明・霞  
釣狐花設畏 元1：明・芸 N9  
今様月汐汲 元1：明 1194

道行昔のうつし絵 元1：演特イ 11-1212-22H・明カ  
琴柱のかり 元1：松  
めりやすなみ枕 元1：松  
めりやす雪月花 元1：松、儀：演特イ 11-1212-22I  
花楓粧丹前 元1：演特イ 11-1212-22J・松・明  
花緑千歳寿 元1：明  
初花色の染手綱 元1：明  
恋の枷糸 元1：演特イ 11-1212-22L・竹 7-2428  
乱咲扇子蝶 元1：明  
再咲花娘道成寺 元1：演特イ 11-1212-22M  
めりやす秋の夜 元1：演特イ 11-1212-22Q・演和ト -13-418-6  
道行児桜恋淵瀬 元1：芸 E (透写)  
咲鏡梅丹前 元1：芸 E (透写)  
めりやす色増袖 元1：松  
馴初船の内 I：演特イ 11-1212-23B・竹 7-2979  
朝日の舞鶴 I：芸 E  
狂乱岸姫松 元1：芸 E  
重荷の塩柴 元1：芸 E  
色見草古巢玉籬 元1：演和ト 13-281  
めりやす雨の後 元1：演特イ 11-1212-25A  
八朔梅月の霜月 元1：演特イ 11-1212-25C・演特イ 11-1212-107A・演和ト 13-423-4・明 2001、無刊記版：竹 7-3021、沢村 I：明 2002、沢村 II：演特イ 11-1212-107BCD・芸 N28  
松鶴嫩丹前 元I：演特イ 11-1212-25D  
めりやす東歌 元1：演特イ 11-1212-25E  
初約束手管草摺 元1：演特イ 11-1212-25F  
太夫株常磐万歳 元1：演特イ 11-1212-25G  
めりやす雛草 元1：演特イ 11-1212-25H  
放下僧月の弓取 元1：演特イ 11-1212-25J  
釣狐菊寒咲 元1：演特イ 11-1212-25K  
春駒勇笑顔 元1：演特イ 11-1212-26A  
めりやすうわ帯 元1：演特イ 11-1212-26B  
對面花春駒 元1：演特イ 11-1212-26C・竹 7-2882、沢村 I：演特ト 13-443-92、沢村 II：竹 7-2884、沢村 III：芸 N26、沢村 IV：竹 7-2883 (奥書無)  
五月菊名大津絵 元1：演特イ 11-1212-26D・演特イ 11-1212-108A (奥書無)、沢村 I：演特ト 13-429-17・明・竹 7-564  
めりやす月の鏡 元：竹 7-902  
めりやすやどり車 元：明・竹 7-2430  
琴唄雲井の雁 元：松  
めりやす下紐 元：松  
床さかづき相の山 元：松  
めりやす糸車 元：竹 7-2431  
新うた五大力 元：松・竹 7-2432、沢村 I：竹 7-521・2732・演特イ 11-1212-27E・109EF、沢村 II：竹 7-522・芸 16、沢村 III：竹 7-523・524・明



- 袖柳名所塚 元1: 演特イ 11-1212-11B・明  
秋巢籠 元1: 芸 N24/2・演特イ 11-1212-11I、I: 花・演和ト 13-107  
衣かつぎ思破車 元1: 演特イ 11-1212-11J と 93C、儀: 演特イ 11-1212-93E、I: 演特イ 11-1212-93D、II: 上  
早咲賤女乱拍子 元1: 抱、I: 明・演特ト 13-443-65・演和ト 13-423-30、II: 演特イ 11-1212-11M と 93K、III: 演特イ 11-1212-93L  
楓袖相生曲 元1: 花  
おどり念仏 I: 明・演特ト 13-417-7  
鉢色入船 元1: 演特イ 11-1212-11K と 93I (上下二冊)・93H (上下一冊本)  
ちごさくら 元1: 芸 N24/2・竹 7-2405・明・演特イ 11-1212-12D と 特ト 13-417-11、I: 演特イ 11-1212-94H と I  
葉桜閨の團 元1: 芸 E (透写)  
渡初鵲丹前 元1: 演特イ 11-1212-12F・98DE  
おとぎ紅葉早物語 元1: 演特イ 11-1212-12G  
豊算 元1: 芸 24/2、I: 松・竹 7-2407、II: 明、III: 演特イ 11-1212-12H と 98F、IV: 演和ト 13-421-7、V: 竹 7-2901・抱、VI: 芸 N9・N11  
梅楓娘丹前 元1: 演特イ 11-1212-12K・95K  
深見草咲分丹前 元1: 明  
初時雨 元1: 芸 N24/2、I: 松  
相生菊相撲 元1: パ  
心駒勢草摺 元1: 演特イ 11-1212-13C  
一奏廓羽衣 元1: 演特イ 11-1212-13E  
道行女夫傘 元1: 芸 N24/2・演特イ 11-1212-13D、儀: 演特イ 11-1212-96G  
相生獅子 元1: 花・演特ト 13-429-10・竹 7-2135・東国、I: 松・明・竹 7-2460・演特ト 13-443-3・4、II: 演特イ 11-1212-97E・霞・芸 N9・竹 7-2461・演和ト 13-434-7D、III: 上・明、IV: 演特イ 11-1212-13F  
追善江戸桜其佛 元1: 演特イ 11-1212-13H・花  
弾の准系図 元1: 花・演特ト 13-417-9 (同修本)、I: 演特イ 11-1212-13G ト 97A・演特ト 13-429-6 他  
雲の峰 元1: 花・芸 N24/2・明、I: 芸 N3  
めりやす萩の風 元1: 芸 N24/2・花・演特イ 11-1212-14B と 98B  
めりやす待夜 元1: 芸 N24/2  
めりやすかみ心 元1: 演特イ 11-1212-14F と 98H、I: 演和ト 13-387  
楓葉恋狩衣 元1: 演特イ 11-1212-14G  
釣狐春乱菊 元1: 演特イ 11-1212-14L と 99F・99G、儀: 花・演特ト 13-443-75、I: 明、II: 演特ト 13-443-74  
春宝東人形 元1: 演特イ 11-1212-15A と 99E  
こころの五文字 元1: 演特イ 11-1212-15B と 99J、元2: 竹 7-2046  
山桜姿鐘入 元1: 演特イ 11-1212-15C  
めりやす星明 元1: 演特イ 11-1212-16A、儀: 演特イ 11-1212-100D、I: 芸 N24/1  
狂乱須磨友千鳥 元1: 演特イ 11-1212-16C・演特ト 13-417-10、I: 演特イ 11-1212-100H  
粧古郷帰花 元1: 演特イ 11-1212-16E、儀: 明  
水仙対丹前 元1: 演特イ 11-1212-16D  
めりやすうき枕 元1: 演特イ 11-1212-16F、I: 松  
花姿放下僧 元1: 花・博  
髮梳十寸鏡 元1: 演特イ 11-1212-17C と 100J・演特ト 13-319・花・博・芸 E24、I: 竹 7-319 と 7-2409  
めりやす仇ざくら 元1: 演特イ 1-1212-17B・花・博、I: 芸 E24  
妹背星紅葉丹前 元1: 博  
花角力里盃 元1: 博・演特イ 11-1212-17I  
雪花喩糸図 元1: 芸 E (透写)  
冬牡丹園生獅子 元1: 演特イ 11-1212-17H と 101A・博  
紅白勢丹前 元1: 博、I: 演特イ 11-1212-17G・芸 N11、II: 近  
めりやす鳥の音 元1: 演特イ 11-1212-17J・博  
七襄秋羽衣 I: 竹 7-2978 (表になし)  
曙鎌倉名所 元1: 博  
梅笑粧くさざり 元1: 博、I: 演特ト 13-443-77・芸 E24・芸 N11  
春遊駅路駒 元1: 博  
(狂乱初霞) 雲井の里言葉 元1: 博、I: 芸 E24・演和ト 13-427、II: 演特イ 11-1212-18A  
めりやす若くさ 元1: 博、I: 芸 E24・明  
めりやすわが涙 元版1: 博  
初歌舞妓女花槍 I: 芸 E24  
笹引 I: 芸 E24  
雪の一夜室乱梅 I: 演和ト 13-425-14  
めりやす白たえ I: 芸 E24・花・明、II: 演和ト 13-124  
めりやすかきつばた I: 演和ト 13-106  
道行初鶯 I: 竹 7-1436 (表紙のみ存、表になし)  
三扇雲井月 元1: 辻  
陸花 元1: 芸 N11・抱・演特ト 13-443-83  
めりやす錦木 元1: 芸 N11・明・抱・花・松・演特イ 11-1212-18J・辻  
(風流万歳) 五衣の品 元1: 芸 N11  
めりやす神頼 元1: 明  
めりやす思ひ寝 元1: 抱、I: 明  
めりやす庭の落葉 元1: 芸 E (透写)  
御所望釣狐 元1: 芸 E (透写)

[所蔵一覧] (表1-6に対応する)

傾城無間鐘 元1: 特イ 11-1212-1B、元2: 竹 07-2387 (再演)  
 無間鐘新道成寺 元1: 江、元2: 演特イ 11-1212-1C  
 うしろめん 元1: 原本集成1  
 相生獅子 元1: 演特イ 11-1212-1D  
 鳥羽の恋塚 元1: 原1  
 高野道行歌祭文 元2: パ  
 一奏勢熊坂 元1: 演特ト 13-308  
 兵四阿屋造 元1: 演特ト 13-310  
 百千鳥娘道成寺 元1: 特イ 11-1212-1G  
 初見雪水衣 元1: パ  
 山中対面の道行 元1: パ  
 掛合こと哥 元1: パ  
 小妻重山吹海道 元1: パ  
 (室咲)京人形 元1: パ  
 無間鐘 元1: パ  
 一奏現在道成寺 元1: パ  
 今様熊坂の段 元1: 加  
 京鹿子娘道成寺 元1: 加・パ、元2: 図 360、儀: 竹 7-400、I: 演特イ 11-1212-2C と 78A・演和ト 13-127 他、II: 松・竹 7-401・芸 N11・演和ト 13-419-24・演特イ 11-1212-78B・辻他  
 花の縁 元1: 加、元2: 芸 N24/2、I: 松、II: 竹 2388、III: 芸 N9  
 一奏乙女姿羽衣所作 元1: パ  
 分身鉄五郎 元1: パ  
 夜鶴花菓籠 元1: パ  
 江戸鹿子男道成寺 元1: パ、儀: 演特イ 11-1212-79B、I: 演特イ 11-1212-79C  
 英執着獅子 元1(上下2冊): 演特イ 11-1212-3A・加・パ、儀 (上下2冊): 松・竹 7-1161 と 1162・演特イ 11-1212-79D・演和ト 13-423-24 他・(上下1冊) 明 1023・竹 7-1163 (破)・黒、I: 上 (上冊)・花 (下冊)、II: 演和ト 13-98 (上冊)・上 (下冊)、III: 明 1022・演特ト 13-443-9 (上下一冊)、IV: 抱 (上冊)  
 冬牡丹揚羽面影 元1: パ  
 万歳貝尽掛合せりふ 元1: 加  
 やりおどり長哥 元1: パ  
 早咲枕丹前 元1: 演特イ 11-1212-4B  
 寿相生羽衣 元2: 演特イ 11-1212-5B・辻・花上、I: 芸 N9 上冊・演和ト 13-419-58、II: 演特イ 11-1212-85D と E・演和ト 13-70・演特ト 13-443-29 と 30 他、III: 演和ト 13-419-59 下、IV: 竹 7-534  
 舞扇子姥桜 元1: 演特ト 13-448-19 (透写)  
 舞鶴初丹前 元1: 演特イ 11-1212-5G 他 (透写)  
 勝色桜丹前 元1: 明 1051  
 髪梳名とり草 元2: 竹 7-2611

芳野草 元1: 芸 N24/2・竹 7-2392、儀: 演特イ 11-1212-6C と 86F、I: 演和ト 13-67  
 道行旅初桜 元1: 川 (表紙のみ掲載)、I: 竹 7-1432 と 1433・明 1052・演特ト 13-443-37 他、II: 竹 7-3178 と 2027、III: 演特ト 13-443-38  
 男郎花 元1: 芸 N24/2  
 紅葉賣 I: 演和ト 13-105・芸 N9・演特イ 11-1212-7C  
 一奏夕告鳥 元1: 演和ト 13-448-30  
 勝舞台名寄行列 元1: 演和ト 13-448-31 (透写)  
 姥桜江島面 元1: 演和特ト 13-448-33 (透写)  
 旅寝の小蝶 元1: 演和ト 13-448-34 (透写)  
 峰雲皁墨染 元1: パ  
 夏柳烏玉川 元1: パ  
 末広冬牡丹 儀: 演特イ 11-1212-7G  
 艸摺引 儀: 演特イ 11-1212-8A と 88A、I: 演特ト 13-443-49  
 爪音幸紋尽 元1: 明 1069・演和ト 13-421-25、I: 芸 N9 と E24・演特イ 11-1212-8B・松・演特ト 13-443-48 他、II: 霞、III: 辻  
 ねこのつま 元1: 竹 7-2394・芸 N24/2  
 めりやす 袖の露 元1: 芸 N24/2  
 御所風俗鞆丹 元1: 演特イ 11-1212-8G  
 縁結祝葛葉 元1: 芸 N24/2・松、儀: 演和ト 13-84  
 めりやす親子草 元1: 芸 N24/2・竹 7-2397、儀: 演特イ 11-1212-8K・演特ト 13-443-51 他  
 姿の鏡関寺小町 元1: 明、儀: 芸 N12・演特イ 11-1212-9H と 90G・演和ト 13-88、I: 芸 N9・明・演特イ 11-1212-90H・竹 7-2837  
 冬至梅たが袖丹前 元1: 演特イ 11-1212-9J  
 花寄系図咄 元1: 花・明  
 ふたつ文字 元1: 芸 N24/2・竹 7-2399・演和ト 13-423-52、I: 演特イ 11-1212-9I・演和ト 13-53・明、II: 演和ト 13-423-54・竹 7-1323、III: 竹 7-1319・演和ト 13-85・松・芸 N9、IV: 竹 7-2040  
 馴染相の山 元1: 演特イ 11-1212-9N・東国・竹 7-2400・芸 N24/2・演特ト 13-448-5、I: 松  
 松吹袖汐路 元1: 芸 E (透写)  
 梅紅葉二人物狂 元1: 演特イ 11-1212-10C  
 琴の段朧月 元1: 芸 N24/2・明・竹 7-2402・演和ト 13-418-49、I: 竹 7-251 と 2403・演和ト 13-418-50、II: 演特イ 11-1212-10J と 特ト 13-443-61、III: 竹 7-2576  
 春調娘七種 元1: 上・明・演特イ 11-1212-10I と 91I、I: 演特イ 11-1212-91J と 特ト 13-443-58 と 和ト 13-94、II: 芸 N9・演特ト 13-443-60・竹 7-2136、III: 竹 7-3079  
 春雨 元1: 演特イ 11-1212-11A・芸 N24/2、I: 演特イ 11-1212-92C